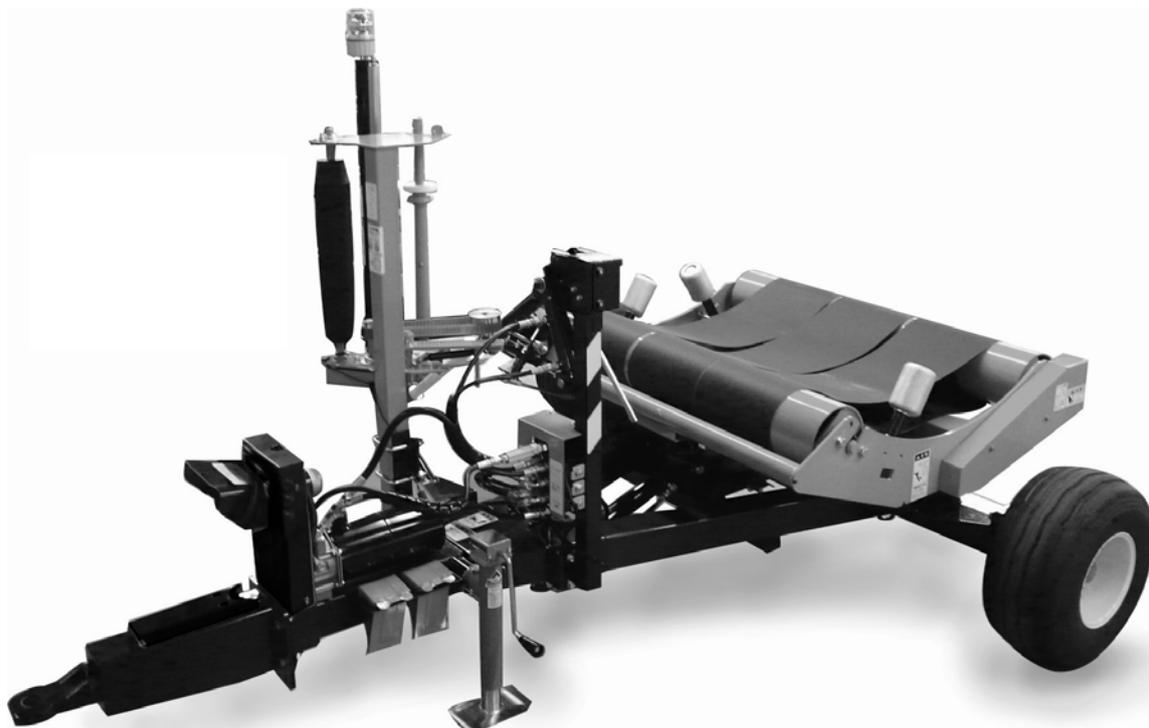


取扱説明書及び部品表

Takakita

リモコンラックマシーン

WM1001R(W)



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。
本取扱説明書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットからアクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、**リモコンラップマシーン**の取扱方法と使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保管してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明な点やお気付の点がございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

警告サイン

 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

 **危険** その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

 **警告** その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

 **注意** その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目 次

 安全に作業するために	1
本製品の使用目的とサービスについて	18
各部の名称とはたらき	19
トラクタへの装着	22
1. 装着のしかた	22
2. ユニバーサルジョイントの取付け	23
3. コントロールボックスの接続	23
4. セーフティチェーンの取扱い	25
5. 運行速度ステッカーの取扱い	26
運転に必要な装置の取扱い	27
1. コントロールボックスの使い方	27
2. フィルム装着	32
3. ダブルストレッチのフィルム装着	33
4. フィルムの通し方	34
5. フィルム伸び率の調整	34
6. タイアンドカットにフィルムをはさむ	34
7. カウンタの設定方法	34
8. ダブルストレッチのカウンタの設定方法	35
9. サイドローラの位置	36
10. タイアンドカットの位置	37
11. シングル/ダブルストレッチの組替え	37
12. テールランプの確認	38
作 業 方 法	39
1. 作業手順と要点	39
2. フィルムを巻付ける	41
3. ベールを放出する	41
4. 移動時の注意	41
5. 格納時の注意	41
作業前の点検について	42
簡単な手入れと処置	43
1. 油圧作動油について	43
2. チェンの調整	43
3. タイアンドカットの調整	43
4. センサ類の調整	44
5. タイヤの空気圧	46
6. ゴムロール	46
7. トラクタの発電量	46
不 調 診 断	47
付 表	49
1. 主要諸元	49
2. 電装回路図	50
3. 保安部品電装回路図	51

⚠ 安全に作業するために

取扱説明書と本機に貼ってある⚠表示ラベルをよく読み、機械の使い方をよく理解したうえで使用してください。また、機械を点検して異常がないかを確認してから使用してください。

機械を人に貸すとき、または所有者以外が運転するときは、運転方法を指導し、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

1. 本機を使用するにあたって

(1) 使用する人の条件

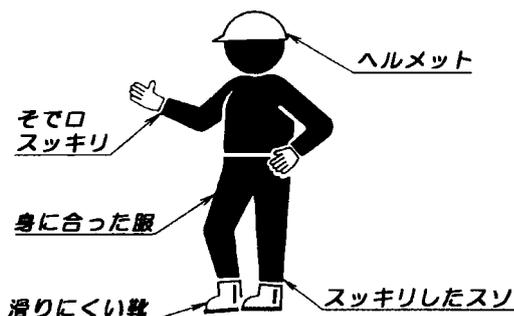
次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき。
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき。
- 妊娠しているとき。
- 取扱方法を熟知していない人。



(2) 使用する人の服装

機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。



(3) 適応トラクタ以外への装着厳禁

下記の装着条件に合致するトラクタ以外には装着しないでください。

● 適応トラクタ馬力

型 式	馬力 kW(PS)	装着方法
WM1001R(W)	14.7~51.5 (20~70)	けん引

● 電源用バッテリー : DC12V

(4) 装着時の前後のバランス確認

総重量の20%以上の荷重が前輪に作用していることが必要です。

もし、不足するときはトラクタ指定のフロントウェイトを取付けて、20%以上を確保してください。できなければ装着しないでください。

(5) バランスウェイトの取付け

トラクタのバランスウェイトは指定された部分に指定されたウェイト以外は取付けしないでください。

(6) 装着後の注意

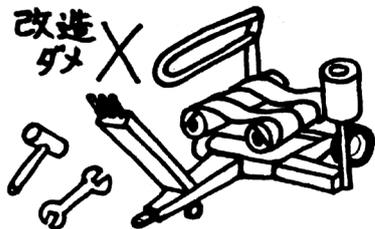
トラクタ装着後、作業機が接地した状態で移動、または作業を行ってください。守らないと破損の原因となります。

⚠ 安全に作業するために

(7) 機械の改造厳禁

指定以外の部品を取付けないでください。

また、改造をしないでください。



(8) 機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。



2. 点検・整備をしてください

(1) 1年毎の定期点検・整備を

整備不良による不具合や事故を防止するために、1年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業できるようにしてください。



(2) 作業前の点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。

(3) 点検・整備・掃除をするとき

点検・整備・修理・掃除をするときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり、動いたりしない平坦で安定した場所でPTOを切り、トラクタのエンジンを停止し、駐車ブレーキまたは車止めをしてから行ってください。



(4) 機械を常にきれいに

火災予防と性能維持のため、回転部への草などの巻付きやたまりを取除き、機械を常にきれいに維持してください。



(5) 排気ガスには十分注意

屋内などでエンジンを始動するときはエンジンの排気ガスによる一酸化炭素中毒のおそれがあります。エンジンの始動は、風通しのよい場所で行い、やむをえず屋内で始動する場合には、十分換気を行ってください。

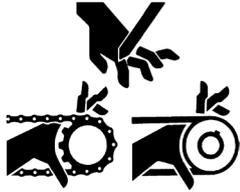


⚠ 安全に作業するために

(6) カバー類を必ず取付ける

カバー類などの防護装置を取外すときは、必ずPTOを切り、エンジンを停止してから行ってください。

また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。守らないと、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



(7) 注油・給油するときは

PTOを切り、エンジンを停止し、回転部分が完全に止まってから行ってください。



(8) ナイフに注意すること

ナイフ類は絶対に素手で触れないでください。必ず手袋などの保護具を着用してください。

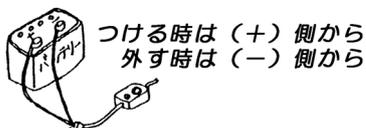


(9) コントロールボックスの電源脱・着

トラクタのバッテリーより電源を取ります。その取付け方法は、(+)側から行ってください。

外す時は、(-)側から行ってください。逆にすると火花が飛び危険です。

(詳細は本文の『コントロールボックス』の取付けを参照してください。)



(10) 長期格納するときは

機械を清掃し、回転部およびチェーンには十分注油して、屋内の平坦な場所に保管してください。

コントロールボックスはトラクタより取外して屋内の乾燥した場所に保管してください。



(11) タイヤの点検・修理をするときは

①タイヤの空気圧は、規定の空気圧を必ず守ってください。

②空気の入れ過ぎはタイヤ破損のおそれがあり、死傷事故を引き起こす原因になります。

③タイヤに傷があり、その傷がコード(糸)に達している場合は、使用しないでください。

タイヤ破損のおそれがあります。

④タイヤ・チューブ・ホイールなどに関する交換・修理などは十分な整備施設をもち、特別教育を受けた人がいるタイヤショップ等の専門店へ依頼してください。



◆本機に装着している

タイヤのサイズと規定空気圧

タイヤサイズ

22 × 10.00-10PR

空気圧

500kPa (5.0kg/cm²) 以下

⚠ 安全に作業するために

3. 作業・移動をするときは

(1) 人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。



(2) エンジンを始動するときは

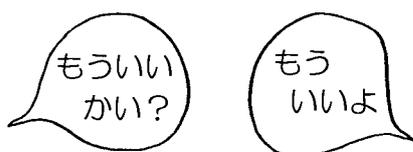
PTOを切り、変速レバーを中立にし周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。守らないと傷害事故を引き起こすおそれがあります。

安全確認



(3) 二人以上で作業するときは

二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。



(4) ストレッチフィルムの交換や

草の巻きつきを取除くときは

PTOを切り、エンジンを必ず停止してから行ってください。



(5) 回転中のユニバーサルジョイント

には触れない

回転しているユニバーサルジョイントに手や足で絶対に触れないでください。巻き込まれて傷害を負うおそれがあります。

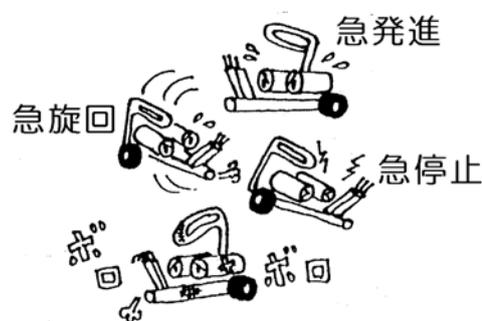


(6) 急な発進・停止・旋回・

スピードの出しすぎ禁止

スピードの出しすぎ、急な発進・停止・旋回は、事故の原因となるだけでなく、機械の寿命を縮めるので行わないでください。

また、起伏の多いほ場や傾斜地は、危険です。作業スピードは極力落として作業を行ってください。



(7) エンジンは低速回転で

高速回転にすると、ボールが飛び出したり、機械が振動したりして大変危険です。

ラップするときは、PTO回転を必ず $300 \sim 350 \text{min}^{-1}(\text{rpm})$ の範囲にしてください。

⚠ 安全に作業するために

(8) 傾斜地で作業するときは

次のことを必ず守ってください。

- ① 斜面の等高線に平行、または斜めに走行すると横転の危険があります。斜面の作業は、必ず等高線に対して直角方向に走行してください。
- ② 傾斜地で旋回するときは、速度を落とし、急ハンドルを切らないでください。高速で旋回すると、転倒する危険があります。

- ### (9) 作業途中で運転席より離れるときは
- 平坦な場所に停止し、PTOを切りエンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、本作業機側に車止めをしてください。

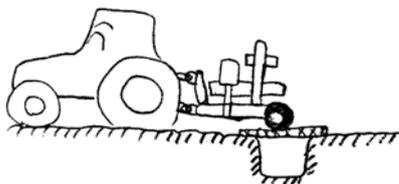


(10) 溝や畦の横断や

軟弱な所を通るときは

スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あるスリップしないアユミ板をかけ、最低速度で通ってください。

ゆっくりと



4. 輸送するときは

トラックなどへの積み込み・降ろしは平坦な場所でトラックが移動しないようエンジンを停止し、サイドブレーキをかけ、車止めをしてください。積み込んだ機械は車止めをし、強度が十分にあるロープで確実に固定してください。

⚠ 注意

各チェーン、各回転部分や摩擦しゅう動部分には十分注油してください。また、部品が摩耗したまま使い続けると、摩擦による加熱の原因となり、場合によっては火災となります。

以上、機械の取扱いで注意していただく主だった事項を記載しましたが、

これ以外にも本文の中で ⚠ 印を付けて安全上の注意事項を表記しております。

⚠ 安全に作業するために

5. 公道走行するときは

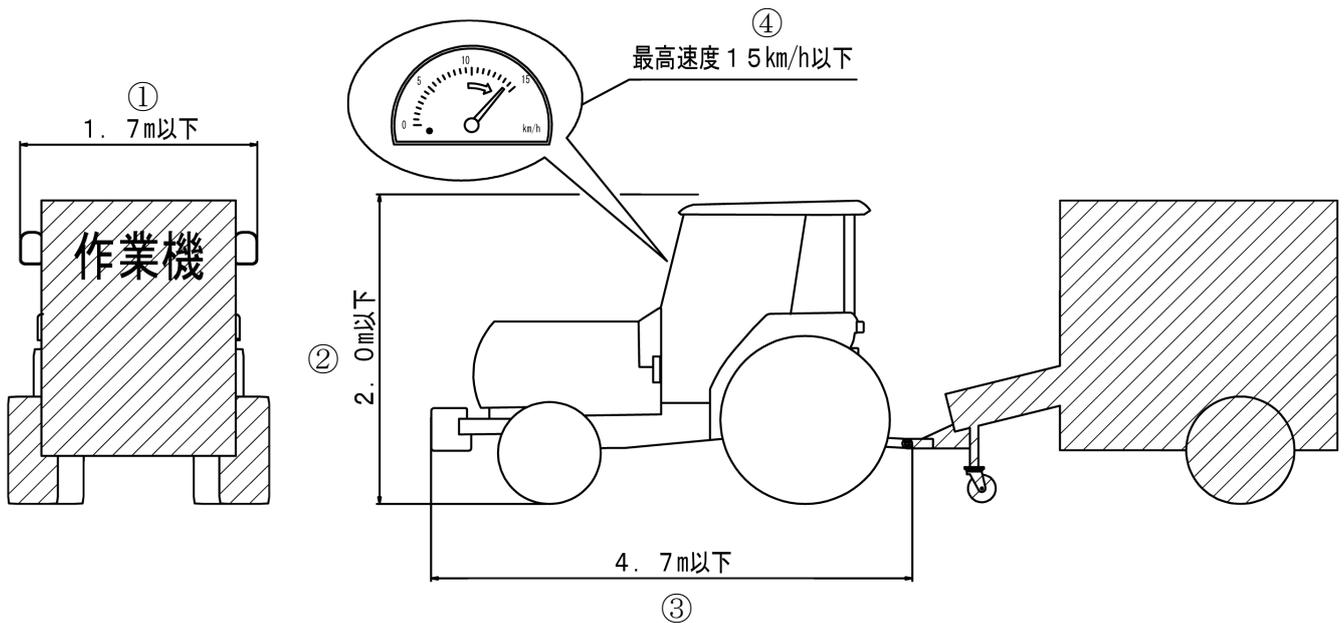
農耕用トラクタに関わる道路運送車両法の運用が見直され、保安基準に緩和措置が設けられました。必要な対応をすることで、けん引タイプの作業機で公道を走行することができます。公道走行をする際は、下記項目を確認したうえで必要な対応を行い、法令遵守して走行してください。

(1) 必要な運転免許証について

トラクタの寸法が下表①～③の数値以内で④最高速度15km/h以下の場合は小型特殊免許で運行可能になりますが、下表①～④の数値をひとつでも上回る場合、大型特殊免許(農耕用に限る、も含む)とけん引免許(農耕用に限る、も含む)が必要となります。ただし、車両総重量750kgを超えない農耕作業用トレーラをけん引する場合、けん引免許(農耕用に限る、も含む)は必要ありません。

- | | |
|----------|-----------------------------|
| ① 全幅1.7m | ② 全高2.0m(安全キャブや安全フレームは2.8m) |
| ③ 全長4.7m | ④ 最高速度15km/h以下 |

次図を参考にご確認ください。



⚠ 安全に作業するために

(2) 保安基準への適合性確認

自動車の種類と大きさにより、申請や検査登録が必要になります。

いずれの場合も農耕作業用トレーラ、農耕トラクタの使用者が保安基準適合性を確保する必要があります。

けん引車の農耕トラクタの種別	農耕作業用トレーラの種別と手続き
小型特殊自動車	<p>[小型特殊自動車]</p> <p>①一般的な大きさのもの ※1</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別に地方運輸局長から基準緩和の認定を、道路管理者から特殊車両通行許可を受ける必要はありません。
大型特殊自動車 (自動車検査証にけん引時の速度制限の基準緩和を受けた旨の記載があるもの)	<p>②全幅が2.5mを超えるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路管理者(地方整備局、各都道府県、各市町村等)に対し、個別に特殊車両通行許可を受ける必要があります。 <p>③長さが12mまたは全高3.8mを超えるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別に地方運輸局長から基準緩和の認定を、道路管理者から特殊車両通行許可を受ける必要があります。
大型特殊自動車 (上記以外のもの)	<p>[大型特殊自動車]</p> <p>①一般的な大きさのもの ※2</p> <ul style="list-style-type: none"> 管轄の運輸支局等で検査登録が必要です。 <p>②長さが12mまたは高さが3.8mを超えるもの、その他オーバーハング等の基準を超えるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> 管轄の運輸支局等で検査登録が必要です。 個別に地方運輸局長から基準緩和の認定を、道路管理者から特殊車両通行許可を受ける必要があります。

※1 全幅2.5m、全長12m、全高3.8mを超えない大きさのもの

※2 農耕トラクタと農耕作業用トレーラの連結全長が12mを超える場合、道路管理者(地方整備局、地方自治体等)から、特殊車両通行許可を受ける必要があります。

⚠ 安全に作業するために

(3) 灯火器類・ステッカーの取付け

下記フローチャート①～③を全てそれぞれについてご確認ください、必要に応じて公道走行を行うための追加装備を取付けてください。

①トラクタの大きさ、最高速度による灯火器取付け位置

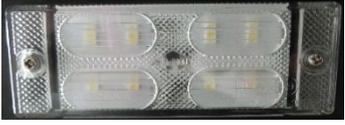
けん引をするトラクタは全長4.7m以下、全幅1.7m以下、全高2.0m以下、かつ最高速度15km/h以下か。

YES

NO

前面：A. 前部反射器
後面：B. 後部反射器
D. 方向指示器
を取付ける必要があります。
※車幅灯、尾灯、制動灯、および
後退灯は取付け義務がない
ので備える必要はありません。
次頁の取付け例1を参照して
ください。

前面：A. 前部反射器
C. 車幅灯
後面：B. 後部反射器
E. コンビネーションランプ
F. 後退灯
を取付ける必要があります。
※トラクタと農耕作業用トレーラ
の連結全長が6m未満の場合
は、農耕作業用トレーラの後面
方向指示器は必要ありません。
次頁の取付け例2を参照してくだ
さい。

A.前部反射器	B.後部反射器	C.車幅灯	D.方向指示器
			
E.コンビネーションランプ		F.後退灯	
			

⚠ 安全に作業するために

● 装備の取付け位置

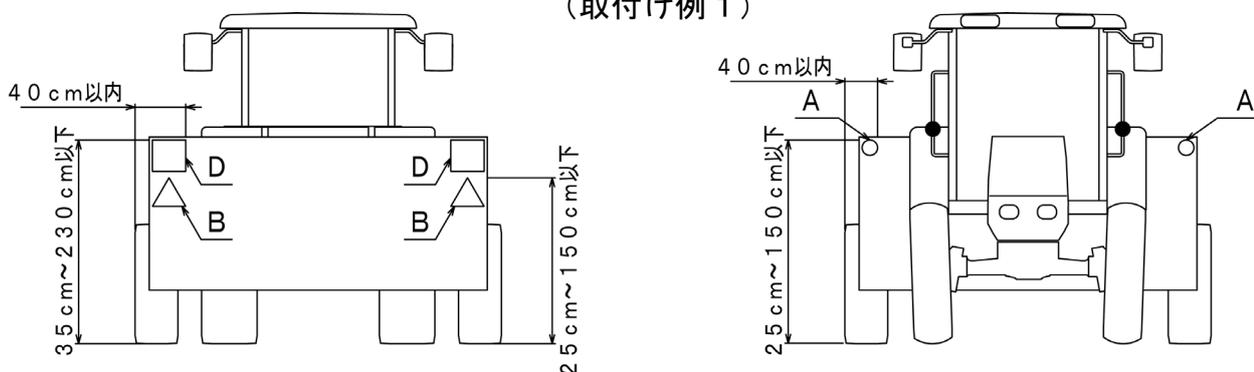
・ 道路運送車両の保安基準により、各種灯火器類の取付け位置は定められています。

- 前部反射器(リフレクター) 最外側から40cm以内、高さは地上25cm以上150cm以下
- 後部反射器(リフレクター) 最外側から40cm以内、高さは地上25cm以上150cm以下
- 車幅灯(ポジションランプ) 最外側から15cm以内、高さは地上25cm以上210cm以下
- 方向指示器(ウインカー) 最外側から40cm以内、高さは地上35cm以上230cm以下
- 尾灯(テールランプ) 最外側から40cm以内、高さは地上35cm以上210cm以下
- 制動灯(ブレーキランプ) 最外側から40cm以内、高さは地上35cm以上210cm以下
- 後退灯(バックランプ) 高さは可能な限り25cm以上120cm以下

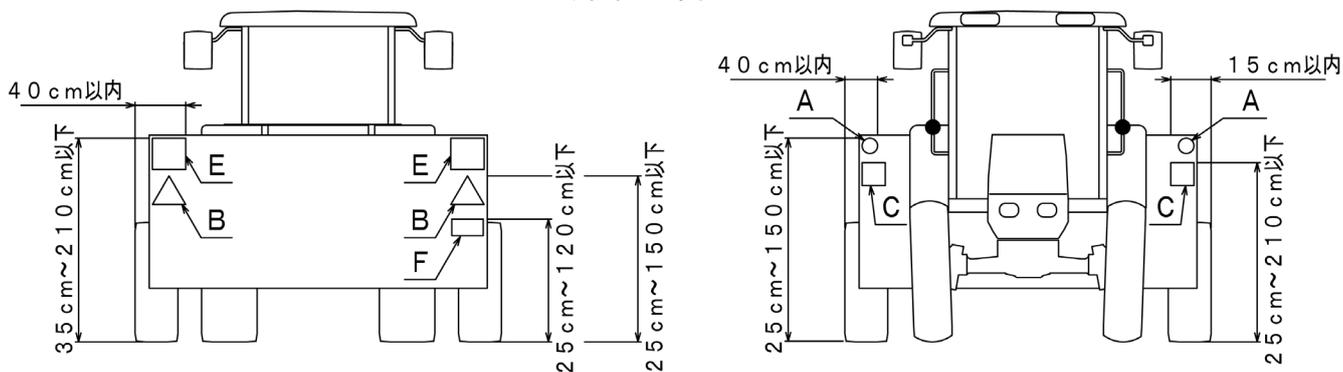
- ・ 車幅灯は前方から確認(視認)できる位置に、上記条件を満たし、可能な限り左右対称になるように取付けてください。
- ・ コンビネーションランプ※は後方から確認(視認)できる位置に上記条件を満たし、可能な限り左右対称になるように取付けてください。
- ・ 後退灯は後方から確認(視認)できる位置に上記条件を満たすように取付けてください。

※コンビネーションランプ・・・方向指示器、尾灯、制動灯が一体化したもの

(取付け例 1)

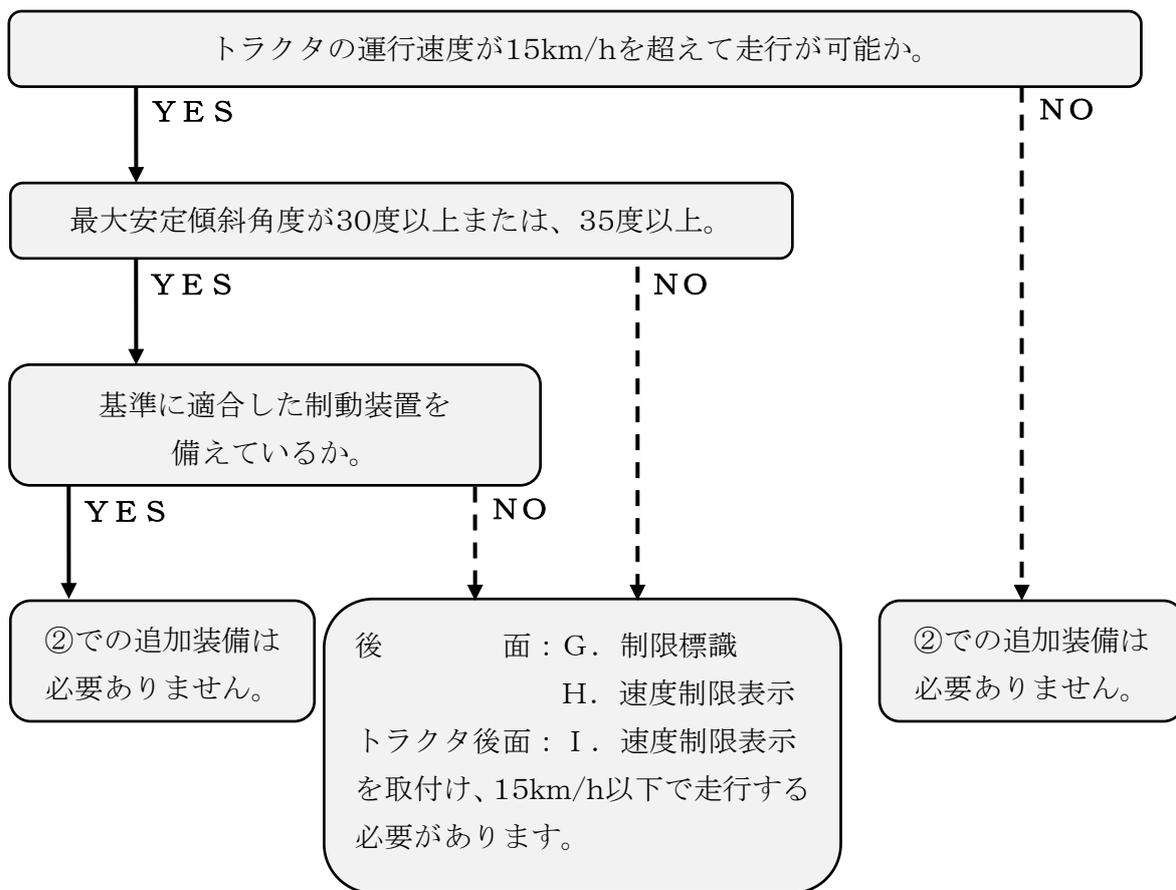


(取付け例 2)



⚠ 安全に作業するために

②トラクタの運行速度



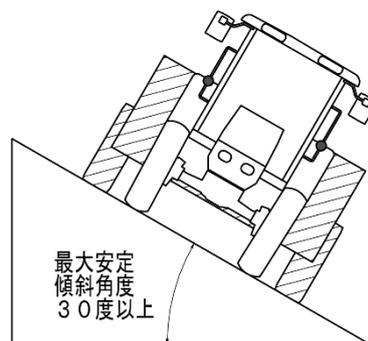
●最大安定傾斜角度が不明な場合は、運行速度15km/h以下で走行してください。

<安定性に関して>

作業機を装着した際に、最大安定傾斜角度が30度以上または、35度以上(車両総重量が車両重量の1.2倍以上または、積載により重心高さが上がるもの)であれば、通常ので道路走行できます。

上記条件を満たさない場合は、

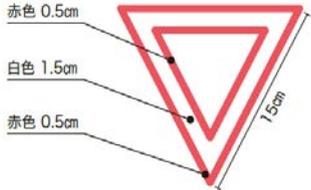
- ・運行速度15km/h以下での道路走行
- ・道路走行をする際に、Gを作業機後面に表示、
Hを作業機後面に表示、
Iをトラクタ後面・運転席に表示
を行う必要があります。

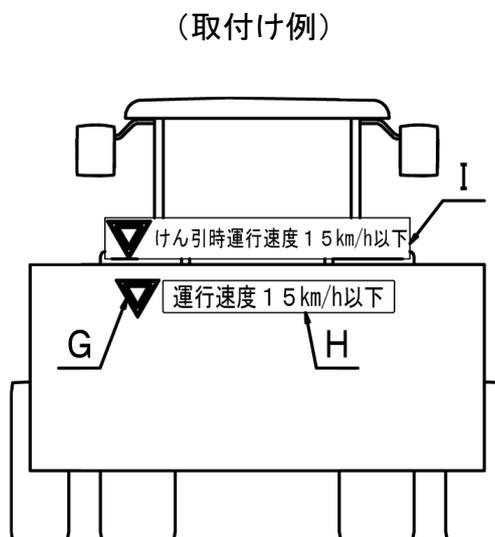


⚠ 安全に作業するために

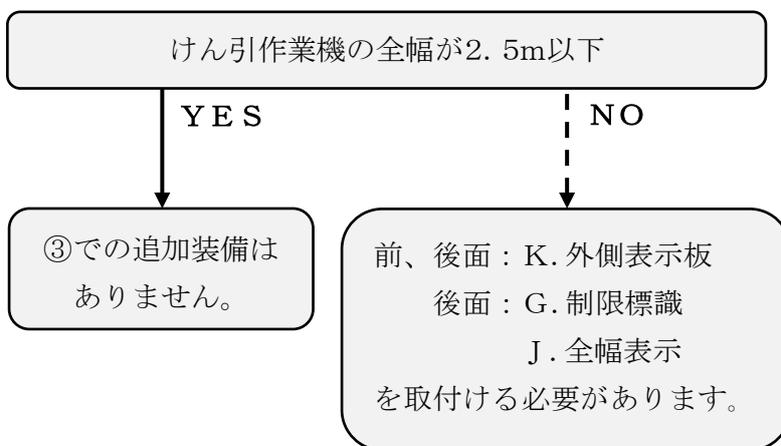
● 装備の取付け位置

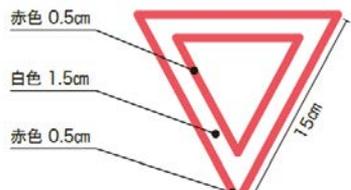
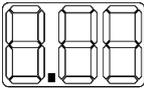
- ・ G、H、I は後方から確認できる位置に取付けてください。
- ・ I は運転席にも表示する必要があります。

<p>G. 制限標識</p> 	<p>H. 速度制限表示 (作業機側)</p> <p>運行速度 15 km/h 以下</p>
<p>I. 速度制限表示 (トラクタ側)</p>	
<p>けん引時運行速度 15 km/h 以下</p>	



③ 作業機装着時の全幅



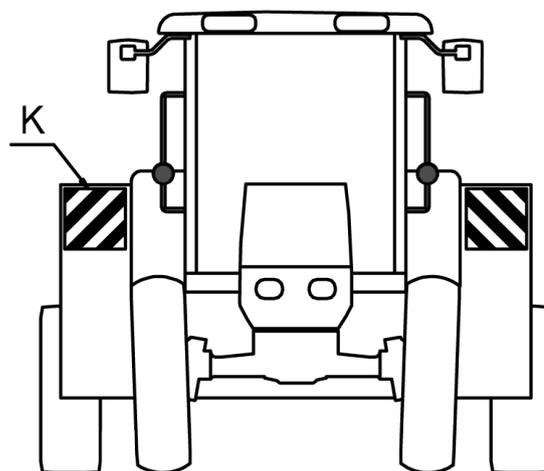
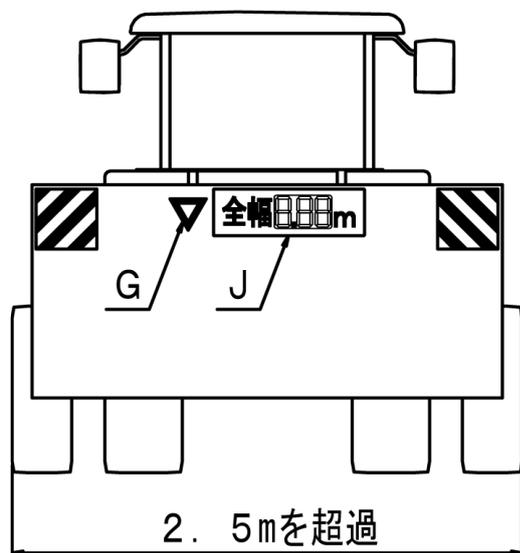
<p>G. 制限標識</p> 	<p>J. 全幅表示</p> <p>全幅  m</p>	<p>K. 外側表示板</p> 
--	--	---

⚠ 安全に作業するために

● 装備の取付け位置

- ・ G、Jは後方から見やすい位置に取付けてください。
- ・ Kは前後、両端に赤白ラインが「ハの字」になるように取付けてください。

(取付け例)



⚠ 安全に作業するために

灯火器類・ステッカー取り付け例

<p>灯火器取付け位置</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>車幅灯 前部反射器 尾灯 後部反射器 制動灯 方向指示器 後退灯</p> </div>	<p>全長 4. 7m以下、 全幅 1. 7m以下、 全高 2. 0m以下、 最高速度 15 km/h 以下の場合</p>	<p>(ア)</p>
	<p>上記の寸法 または最高速度 15 km/hを1つでも 上回る場合</p>	<p>(イ)</p>
	<p>全幅が 2. 5mを 超える場合</p>	<p>(ウ)</p>

灯火器・ステッカー

A. 前部反射器



B. 後部反射器



C. 車幅灯



D. 方向指示器



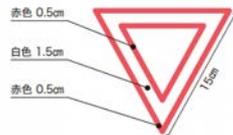
E. コンビネーションランプ



F. 後退灯



G. 制限標識



H. 速度制限表示
(作業機側)

運行速度 15 km/h以下

I. 速度制限表示
(トラクタ側)

けん引時運行速度 15 km/h以下

J. 全幅表示

全幅 8.88m

K. 外側表示板

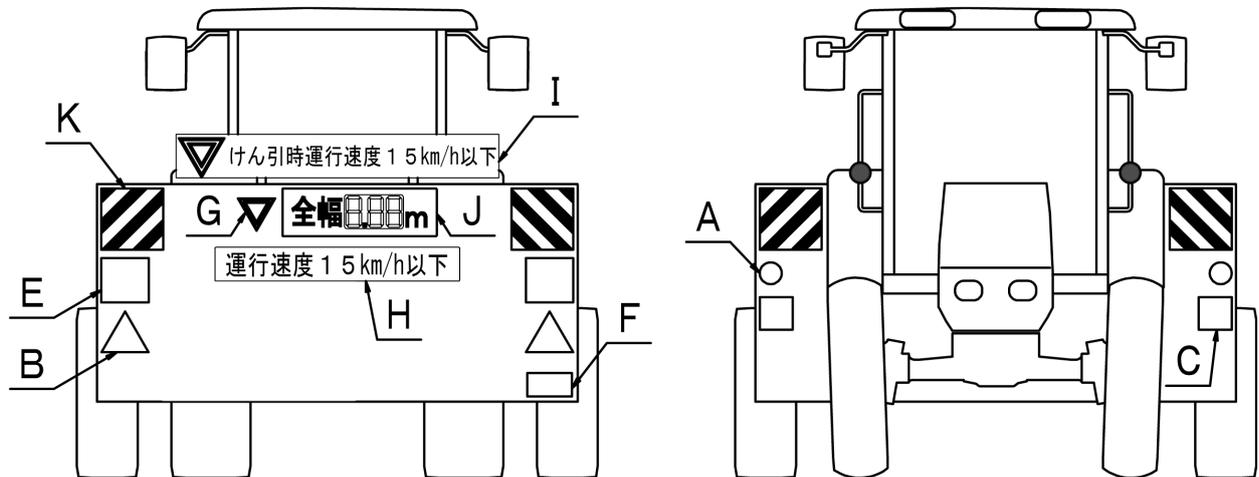


※全幅2.5mを超過する場合は、道路管理者(国道：地方道路局、県道：各都道府県、市道：各市町村)から特殊車両通行許可を得る必要があります。

⚠ 安全に作業するために

- p.10「②トラクタの運行速度」を確認後、速度制限表示が必要な場合は取付けてください。

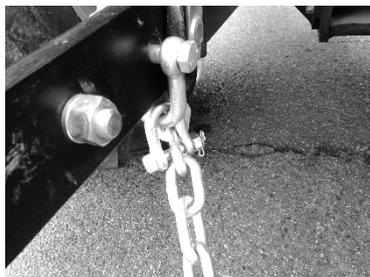
例：(ウ) に速度制限表示を追加



- 灯火器類取付けの際には、トラクタの操作と連動して点灯することを確認してから公道走行を行ってください。また、灯火器類・ステッカーが汚れたときは視認できるように掃除してください。

(4) 農耕作業用トレーラの構造要件(分離時の連結維持構造)に関して

農耕トラクタが農耕作業用トレーラをけん引した際に、不意に連結装置(ドローバ等)が分離したときでも農耕トラクタと農耕作業用トレーラの連結を保つことができる構造でなければ道路走行できません。セーフティチェーン等を備え、けん引時にはセーフティチェーン等をねじ止め等でつないで道路を走行してください。



セーフティチェーン

詳細は日農工「公道走行ガイドブック」(<http://www.jfmma.or.jp/kouido.html>)をご覧ください。
その他不明な点は、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

⚠ 安全に作業するために

(5) 公道走行時の注意点

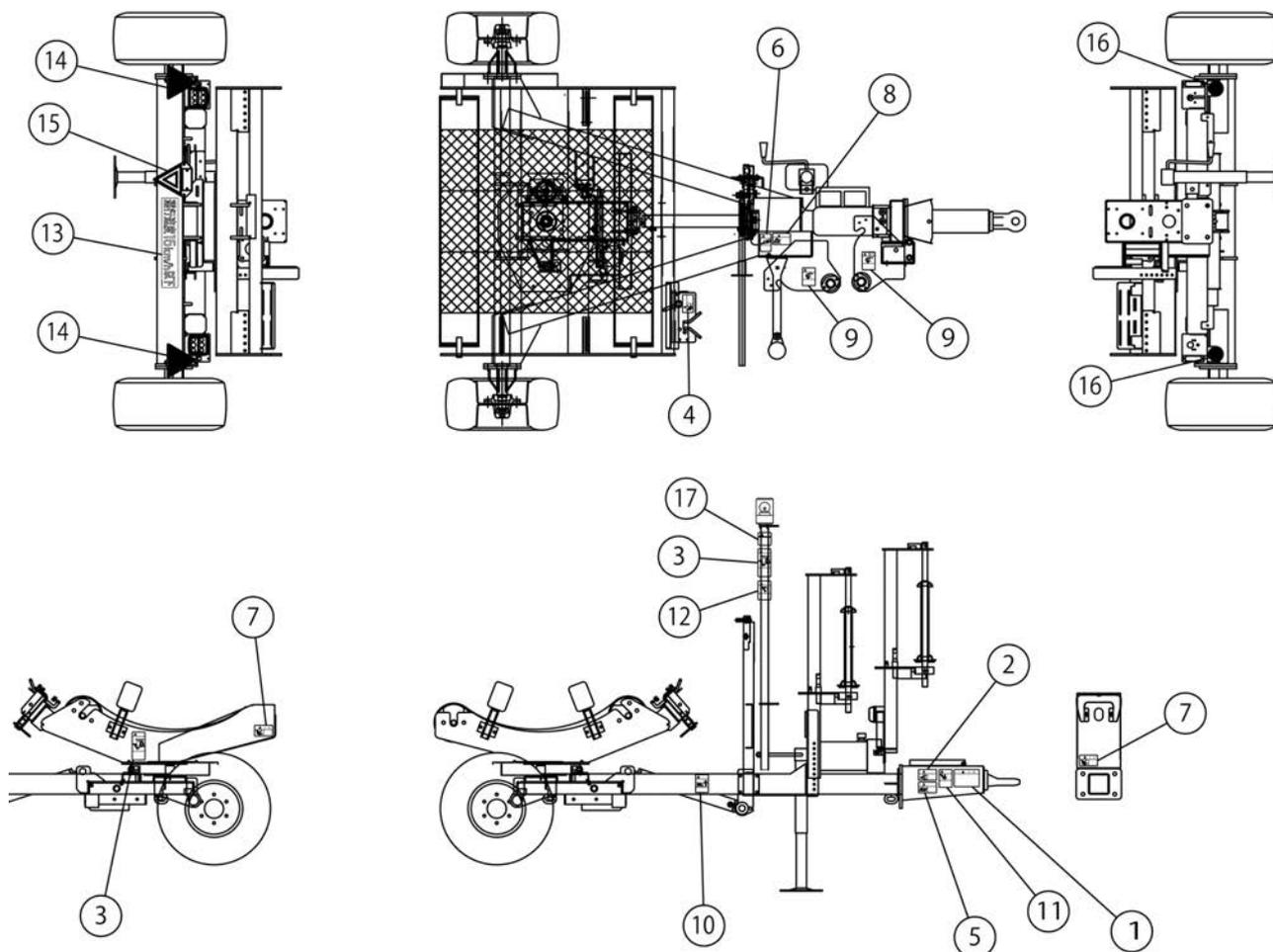
- パトライトを設置した状態での公道走行は、法令で禁止されています。公道走行時は、パトライトを取外してください。

ノブボルト、コネクタを外すことでパトライトを取外することができます。



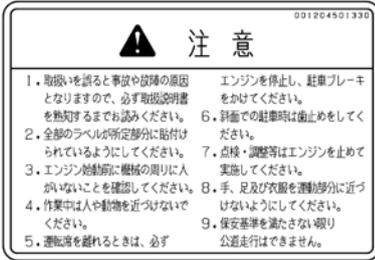
5. 警告ラベルの貼付け位置

- WM1001R(W)



⚠️ 安全に作業するために

①部品コード 001204501330



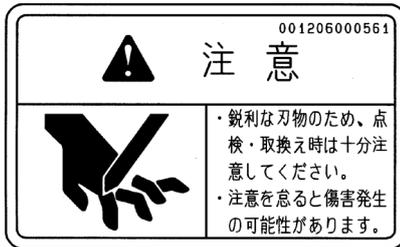
②部品コード 001206000230



③部品コード 001206000372



④部品コード 001206000561



⑤部品コード 001206000610



⑥部品コード 001206000750



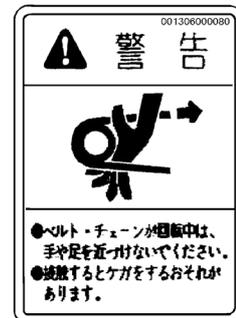
⑦部品コード 001206000800



⑧部品コード 001206001320



⑨部品コード 001306000080



⑩部品コード 001306000220



⑪部品コード 001306000210



⑫部品コード 001206001810



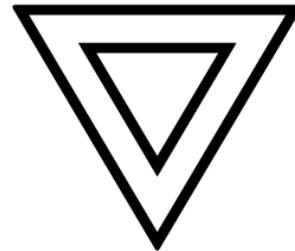
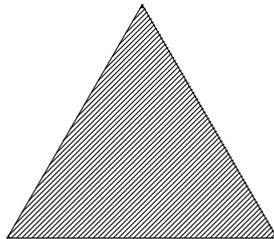
⚠ 安全に作業するために

⑬部品コード 001205200050

⑭部品コード 001206002340

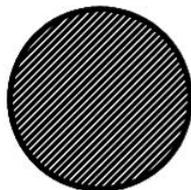
⑮部品コード 001206002260

運行速度15km/h以下



⑯部品コード 001206002270

⑰部品コード 001206002340



警告ラベルの取扱い注意事項

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにして傷をつけないように、また汚れている場合、中性洗剤で洗い、軟らかい布で水気を拭いてください。
- (2) 傷ついたり、汚れたり、剥がれた場合は、お買い上げの販売店または当社に注文し、新しいラベルを元の位置に貼ってください。(ラベルをご注文の際は部品コードをご連絡ください。)
- (3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。気泡は隅の方へ押しながら抜いてください。

本製品の使用目的とサービスについて

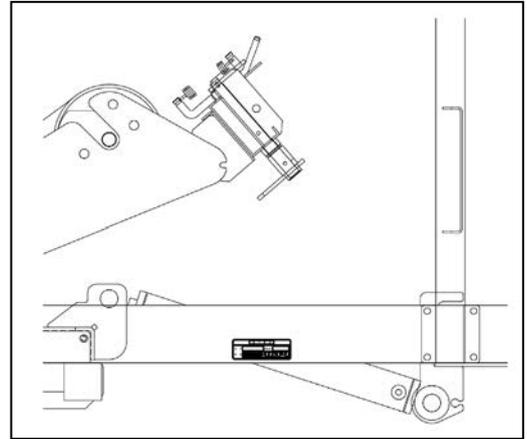
本製品の使用目的について

本製品は、稲ワラ、牧草、麦稈等のペールをラップする作業にご使用ください。
 使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。
 使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

(機体銘板貼付け位置図)

アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って点検・処置しても、不具合が改善しないときは、お買い上げいただいた販売店、JA（農協）、または、お近くの当社営業所までご連絡ください。



【ご連絡していただきたい内容】

- 品名と型式
 - 機体 No. (SER-No)
 - ご使用状況は？ (どんな条件でどんな作業をしていたときに)
 - どれくらい使用されましたか？ (約〇〇アール、または約〇〇時間使用后)
 - 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。
- ※機体 No.は、上図に示す機体銘板に打刻しております。

【今後参考のため、次の空欄に機体 No.などを記入しておいてください。】

品名	リモコンラップマシーン		
型式	WM1001R		
機体 No. (SER-No.)			
購入年月日	年	月	日
販売店名	TEL : ()		

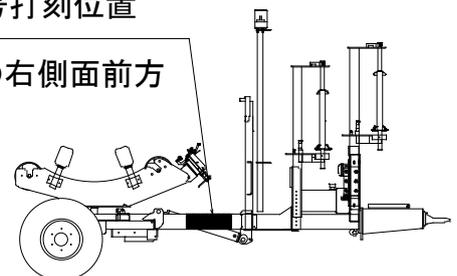
車台番号について

本製品には、上記機体 No. と関連させて機械の同一性を管理する車台番号が打刻されています。
 打刻位置と打刻形式は右図を参照ください。

車台番号
WM1000-****

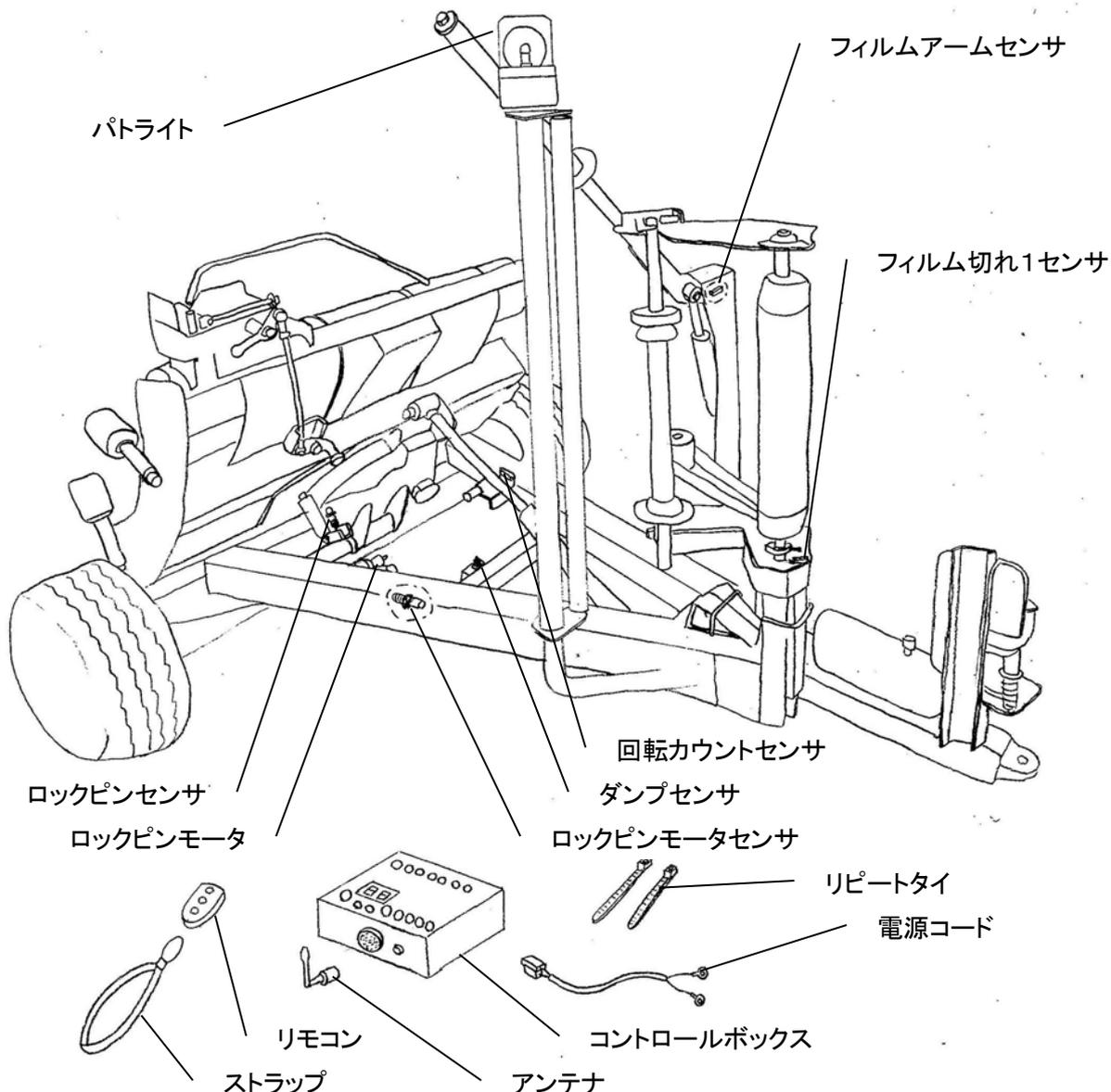
車台番号打刻位置

シャーシの右側面前方



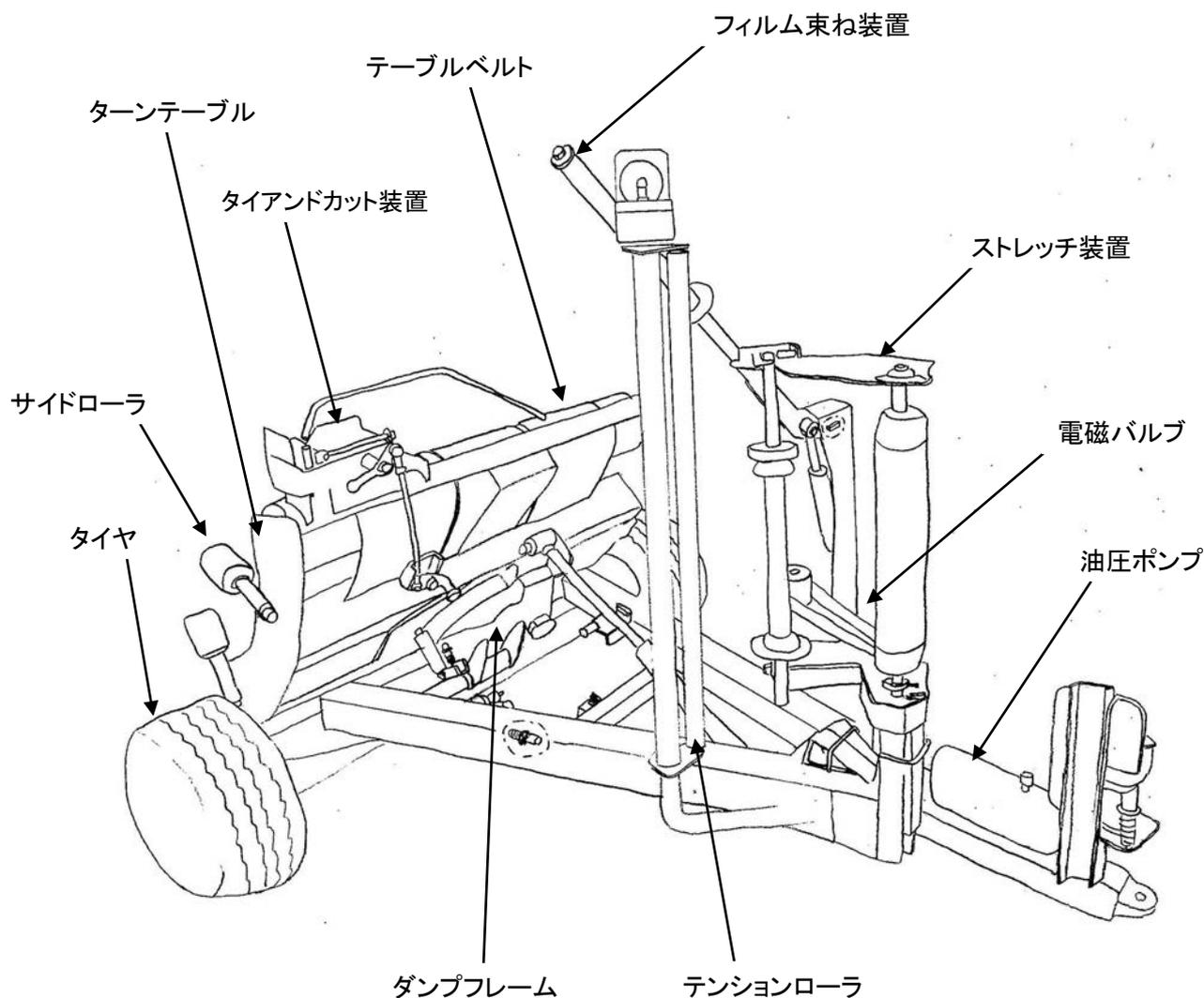
各部の名称とはたらき

WM1001R(W)



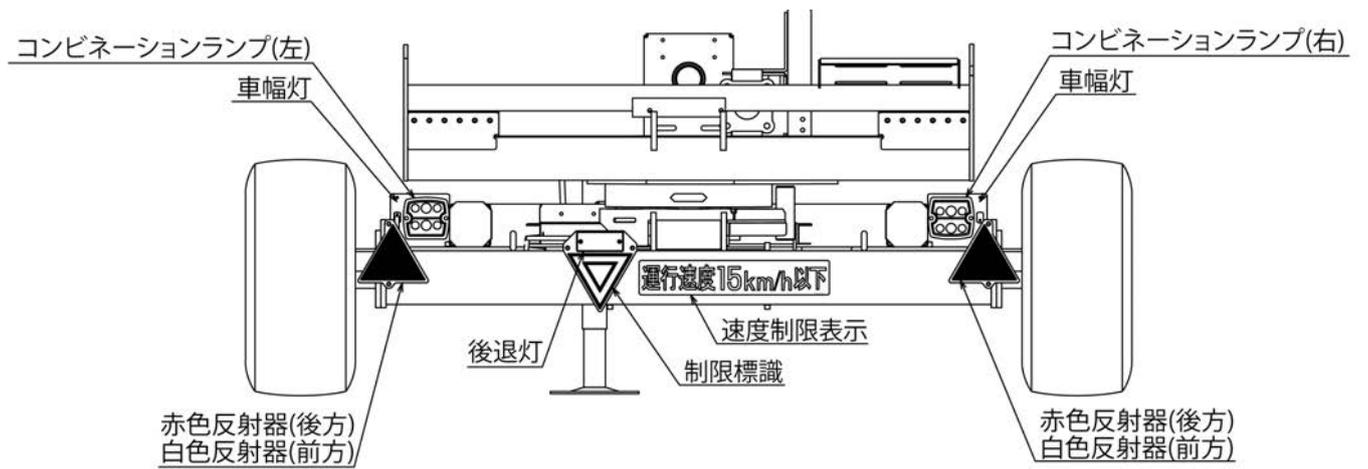
名 称	は た ら き
ロックピンセンサ	ロックピンがテーブルを固定していることを検知します。
フィルムアームセンサ	フィルムアームが上がっていることを検知します。
ダンプセンサ	テーブルが戻っていることを検知します。
回転カウントセンサ	テーブルの回転をカウントします。
ロックピンモータセンサ	ロックピンモータが回転したことを検知します。
フィルム切れ1センサ	フィルムが無くなったことを検知します。
ロックピンモータ	ロックピンを動作させます。
コントロールボックス	動作を制御します。(10Aヒューズ付)
アンテナ	リモコンの電波を受信します。
電源コード	バッテリーから電源を取り出します。12V専用。(30Aヒューズ付)
リピートタイ	トラクタ側の配線を固定します。
リモコン	離れた場所から機械を操作します。
ストラップ	首からリモコンを下げて、紛失を防ぎます。
パトライト	運転状況とエラーを表示します。

各部の名称とはたらき



名 称	は た ら き
ターンテーブル	ロールベールを載せて回転します。
タイヤンドカット装置	フィルムの切断、保持を行います。
ストレッチ装置	フィルムを引き伸ばします。
ダンプフレーム	ロールベールの荷降ろしを行います。
油圧ポンプ	シリンダ、モータに作動油を供給します。
フィルム束ね装置	フィルムを束ねタイヤンドカット装置を補助します。
テーブルベルト	ロールベールのスリップを防ぎます。
サイドローラ	ロールベールの位置を決めます。
タイヤ	草地を傷めない幅広タイヤです。
テンションローラ	フィルムの位置決めを行います。
電磁バルブ	コントロールボックス信号により油圧を切り換えます。

各部の名称とはたらき



名 称	は た ら き
コンビネーションランプ(左)(右)	ウィンカ、ブレーキランプ、尾灯を備えたランプ
車幅灯	白色の車幅灯
赤色反射器(後方)	後方用の反射器
白色反射器(前方)	前方用の反射器
後退灯	後退するときに点灯するランプ
制限標識	制限を受けて公道走行していることを示します
速度制限表示	速度制限を受けて公道走行していることを示します

トラクタへの装着

警告

- トラクタへの本機の装着は平坦で安定した場所で行ってください。
- 二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。
- ユニバーサルジョイントは、必ずPTOを切り、トラクタのエンジンを停止してから、確実に取り付けてください。

以上のことを守らないと傷害発生のおそれがあります。

1. 装着のしかた

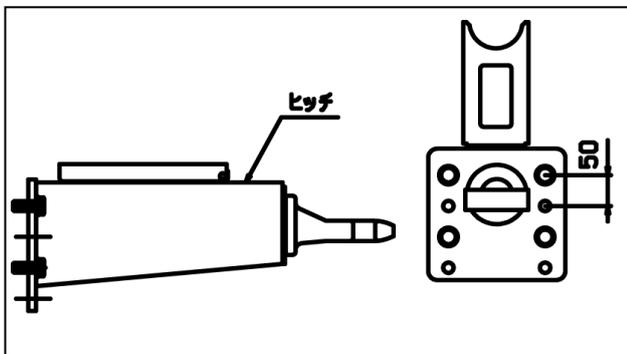
◆ドローバへの装着

- ①スタンドのハンドルを操作して本機をほぼ水平にしてください。
- ②トラクタを後進し、本機のヒッチ高さをトラクタのドローバ高さに合わせてください。

(ヒッチは次図のように、ボルト4本で50mm高さ調整ができます。)

メモ

ヒッチを180度回すと20mmの微調整ができます。



- ③トラクタを前後進し、ドローバの穴位置にヒッチ穴を合わせてヒッチピンで確実に装着してください。

けん引ヒッチが装着されていないトラクタの場合、リンケージドローバ(オプション)を使用する必要があります。

品名 リンケージドローバ
品番 11153-3210-000

注意

リンケージドローバ(オプション)を使用する際は、トラクタの機種により作業機に付属のユニバーサルジョイントでは短い場合があります。その場合は、ジョイント(オプション)を使用する必要があります。

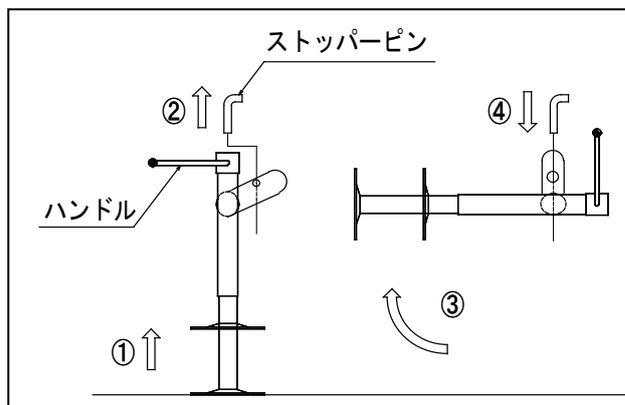
品名 ジョイント
品番 08205-0100-080

◆スタンドを格納する

スタンドを短く縮めてからスタンドのストッパーピンを抜き取り、スタンド本体を90度回転し、ストッパーピンを入れてロックしてください。

注意

故障の原因となりますので、作業時は必ずスタンドを格納してください。

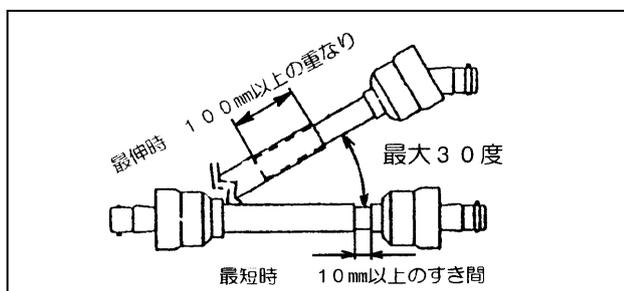


トラクタへの装着

2. ユニバーサルジョイントの取付け

◆ユニバーサルジョイントの取り付け順序
本機入力軸に取り付けてから、トラクタPTO軸に確実に取り付けてください。

◆ユニバーサルジョイントの長さ確認
ユニバーサルジョイントの長さは、トラクタと作業機の組合わせや、ローリンクによる作業機の上昇・下降により変化します。
先にジョイント長さを確認し、長すぎるときは、次図の寸法が確保できるように切断してください。



◆カバー回転止めチェーンで固定を
ユニバーサルジョイントのカバーが回転しないように、チェーンに余裕をつけてしっかりと固定してください。

警告

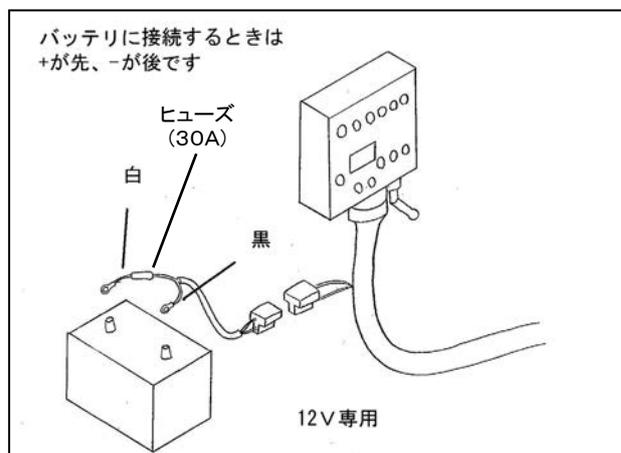
カバーの回り止めは必ず行ってください。これを怠ると傷害事故につながるおそれがあります。

注意

●移動の際は、PTOを切るかユニバーサルジョイントを外して走行してください。旋回時などに、ユニバーサルジョイント角度が30度以上になるとユニバーサルジョイント破損の原因となります。

3. コントロールボックスの接続

◆接続できるバッテリーの電圧は12Vです。
24Vのバッテリーに接続しないでください。間違って接続すると、コントロールボックス内部の機器が破損します。



◆(+)、(-)の接続を間違えないように
白色線はバッテリーの(+)へ接続
黒色線はバッテリーの(-)へ接続

注意

(+)、(-)の接続を間違えると、コントロールボックスの電源ランプは点灯しません。

●バッテリーの容量不足はコントロールボックスの電源が入らないため、誤動作の原因になります。十分に充電されたバッテリーを使用してください。

バッテリー電圧：11～14.5V

警告

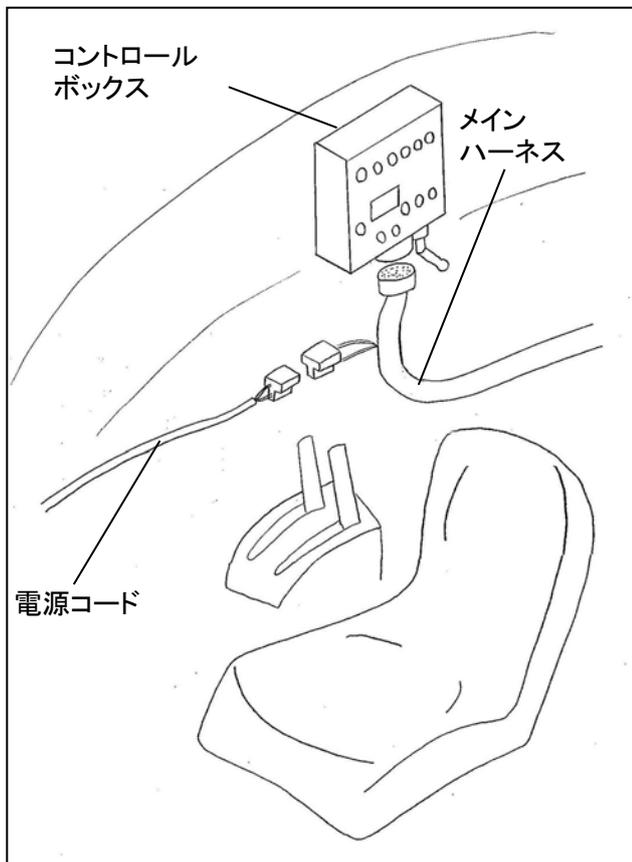
接続の順序は、(+)側から行ってください。
また、取り外すときは(-)側から行ってください。

逆にすると、火花が飛び危険です。

トラクタへの装着

◆コントロールボックスの取付け

コントロールボックスの裏側に永久磁石を装備しています。操作がしやすいように、トラクタの運転席右側の金属製フェンダーなどに取り付けてください。



◆配線の接続

電源コードとメインハーネスをそれぞれコントロールボックスに接続します。

メインハーネスのコネクタの挿し込みが悪いと誤動作を引き起こすおそれがありますので、挿し込んだ後、時計方向に回してしっかりと固定してください。

細い電源コードを使用すると、コードの発熱・コントロールボックスの誤作動を引き起こすおそれがありますので、タカキタ指定の電源コードを使用してください。配線が作業の邪魔にならないように付属のリピータイでトラクタに固定してください。

また、旋回時などに引っ掛からないようにトラクタに固定してください。

◆作業終了後は取外して屋内に保管

作業終了後は、電源コードとコントロールボックスをメインハーネスのコネクタから外してください。コントロールボックスとリモコンは水などのかからない屋内で一緒に保管してください。

トラクタへの装着

4. セーフティチェーンの取扱い

◆セーフティチェーンの組付け手順

セーフティチェーン(以下チェーンと表記)はさまざまなトラクタに対応するため、長めのチェーンが付属しています。

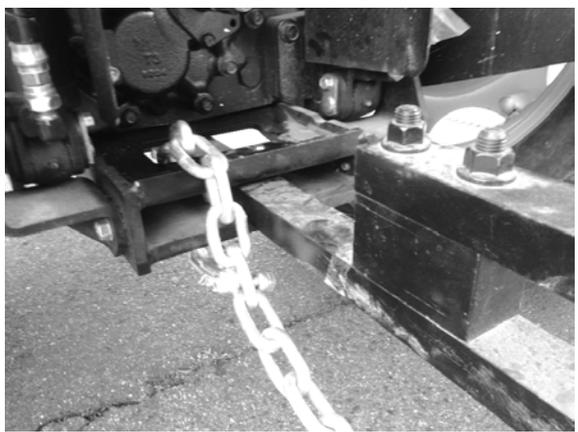
トラクタ側のチェーン取り付け位置にもよりますが、直進時はチェーンが張られ、旋回時にはチェーンが垂れる傾向にあります。チェーンを取り付ける際には長さに十分注意し、余分なチェーンは切断するなど走行の妨げにならないようにしてください。

[1] トラクタ側と作業機側の両方でボルトナットシャックル12を使用し、チェーンを組み付けてください。

(1) トラクタのけん引ドロワー周辺にチェーンを組み付けた場合

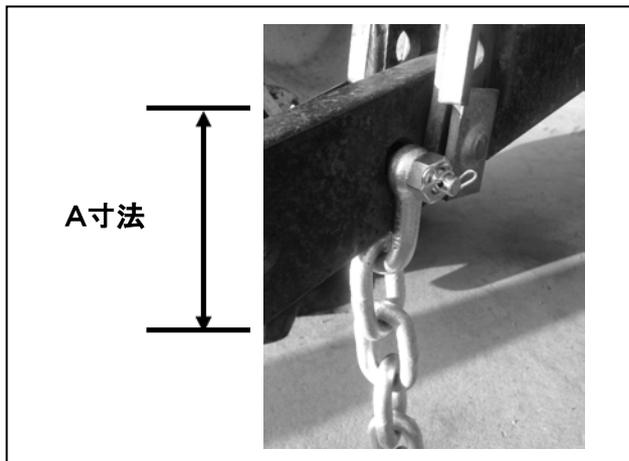


例 1



例 2

(2) トラクタのローリンクにチェーンを組付ける場合は、次図A寸法の大ききでボルトナットシャックルを使い分けてください。



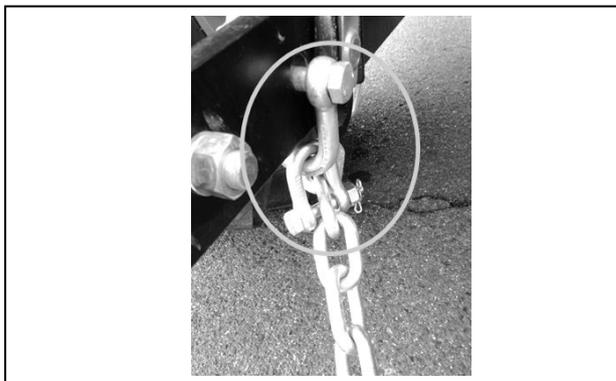
○ローリンクのA寸法65mm以下の場合

ボルトナットシャックル12を使用してください。



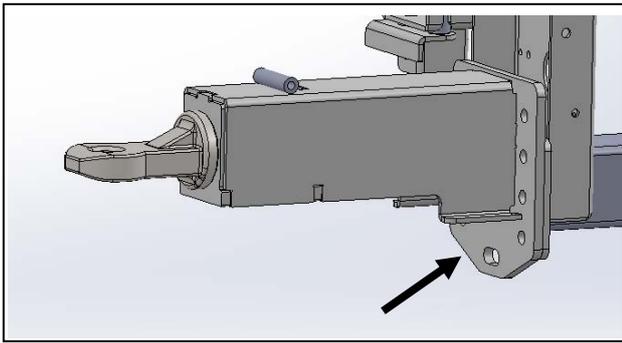
○ローリンクのA寸法65~95mmの場合

ボルトナットシャックル16と12を使用してください。



トラクタへの装着

[2]作業機側のチェーンの組付けにはボルトナットシャックル12を使用してください。



注意

ボルトナットシャックルの抜け止めはワリピンを使用せず、ヌケドメスナップピンを使用してください。



ヌケドメスナップピンは反時計回りに回しながら抜いてください。



5. 運行速度ステッカーの取扱い

◆運行速度ステッカーの貼り付け位置

速度制限表示(トラクタ用)をトラクタの運転席から良く見える場所に貼り付けてください。

けん引時運行速度15km/h以下

速度制限表示(トラクタ用)

運転に必要な装置の取扱い

1. コントロールボックスの使い方

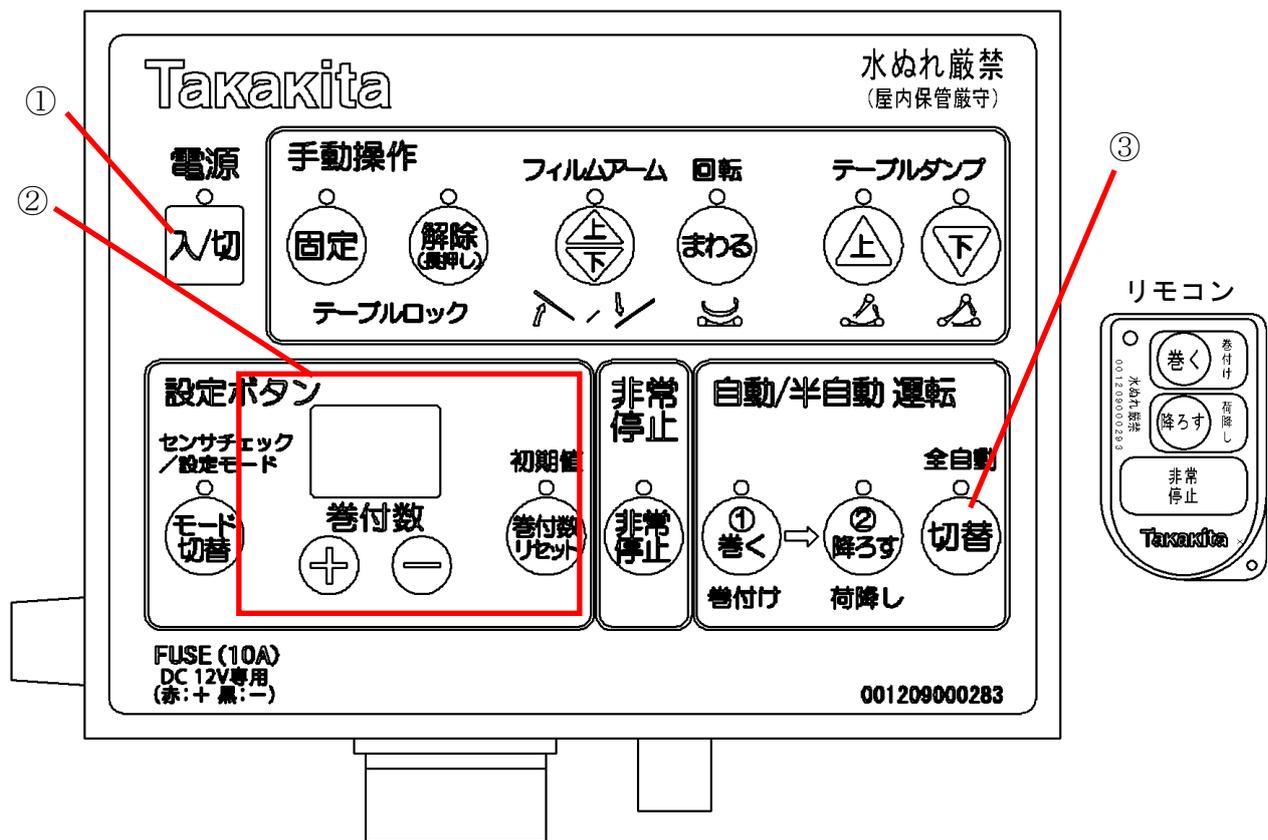
●作業をはじめる前の注意点

- A) コントロールボックスを操作する前に必ずPTOを入れてください。
エンジン回転は作業時以外にはアイドリングで行ってください。
- B) 作業時のPTO回転速度は300～350min⁻¹(rpm)の範囲で行ってください。
- C) 自動運転時、一部の動作にタイマーを設定しています。PTO回転速度が上記回転速度よりずれた場合、油圧速度が変わってしまいタイミングが合わない動作をしますので注意してください。
- D) 空荷、あるいは、フィルムを巻きつけない状態でターンテーブルを回転させる場合はアイドリング状態で行ってください。停止時の衝撃が大きくなり機械を破損させる原因となります。
- E) 自動運転を行う場合、機体の周囲に人、障害物がないか確認してください。
- F) トラクタのバッテリー電圧が低下しますと、コントロールボックスが上手く動作しないことがあります。

●作業前の設定

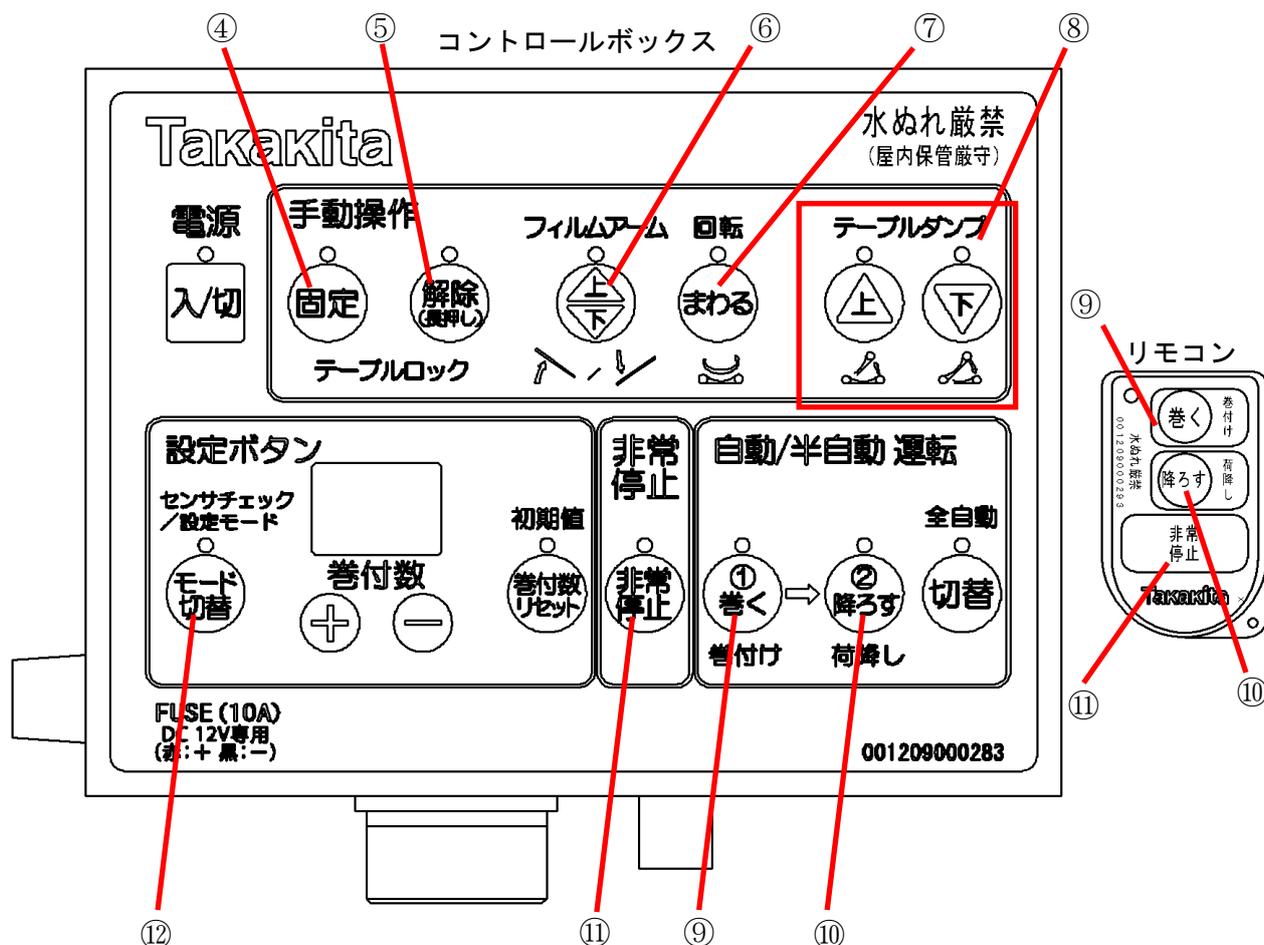
- ①コントロールボックスの電源を入れてください。
- ②巻付数の設定を行ってください。(1度設定すると電源を切っても記憶します)
※設定を変更する場合は『⑫モード切換え(P.29～30)』を参照してください。
- ③全自動作業の選択の設定を行ってください。(1度設定すると電源を切っても記憶します)
※設定を変更する場合は『⑫モード切換え(P.29～30)』を参照してください。

コントロールボックス



運転に必要な装置の取扱い

●その他スイッチ機能説明



以下の操作はPTOを入れアイドリングで行ってください。

- ④ターンテーブルロックピン固定スイッチ
一度押すと、テーブルロックピンが解除後、テーブルが回転しロックします。
- ⑤ターンテーブルロックピン解除スイッチ
一度押すと、テーブルロックピンを解除します。
- ⑥フィルムアームスイッチ
一度押すと、フィルムアームが上下します。
- ⑦回転スイッチ
押している間、ターンテーブルが回転します。
- ⑧ターンテーブルダンブスイッチ
押している間、ターンテーブルが上下します。
- ⑨巻付けスイッチ
設定した巻付数だけフィルムを巻き付けます。なお、全自動LEDが点灯している場合は、巻き付け後フィルムを束ねてロールを放出します。
- ⑩荷降しスイッチ
フィルムを束ねてロールを放出します。

運転に必要な装置の取扱い

⑪非常停止スイッチ

自動運転時、手動回転時に緊急停止を行います。
 パトライトが点滅し、非常停止LED、E O表示が点灯した状態になります。
 非常停止を解除する場合は、非常停止以外のスイッチを操作してください。
 パトライトが点灯し、非常停止LEDが消灯した状態になります。

⑫モード切替

一度押すと設定モードに入ります。
 設定モード/センサチェックLED点灯、「①巻く」、「②降ろす」スイッチは効きません。
 もう一度押すとセンサチェックに入ります。
 設定モード/センサチェックLED点灯「①巻く」、「②降ろす」スイッチは効きません。
 もう一度押すと標準状態になります。

・設定モード

※誤動作の原因になりますので、むやみな設定変更はしないでください。
 +スイッチを長押し(2秒)すると次のセンサ状態を表示します。
 -スイッチを長押し(2秒)すると前のセンサ状態を表示します。
 設定の変更は+スイッチ、-スイッチで行ってください。

設定ボタンの表示	機能	設定範囲
1	シングルストレッチ側フィルム切れ機能の有・無	ON/OFF
2	ダブルストレッチ側フィルム切れ機能の有・無	
3	荷降ろし時、フィルムアームを繰り返し下げる時間	0.0~9.9秒
4	荷降ろし時、ターンテーブルを上げ停止している時間	
5	ターンテーブル解除時、ロックピンセンサを確認する時間	
6	荷降ろし時、フィルムアームを下げる時間	
7	フィルムアームスイッチを押した時、 フィルムアームを下げる時間	
8	ターンテーブル固定時(インキング)、 ターンテーブル回転バルブをONする時間	
9	ターンテーブル固定時(インキング)、 ターンテーブル回転バルブをOFFする時間	
10	ターンテーブル固定時、ロックピンモータセンサを 押してからロックピンモータをOFFする時間	
11	ターンテーブル固定時、ロックピンモータセンサが 押されなかった場合、ロックピンモータをOFFする時間	
12	ターンテーブル解除時、ターンテーブルを上げている時間	
13	ターンテーブル解除時、 ターンテーブルを上げ停止している時間	
14	巻付け開始時(スロースタート)、 ターンテーブル回転バルブをONする時間	

運転に必要な装置の取扱い

設定ボタンの表示	機能	設定範囲
15	巻付け開始時(スロースタート)、ターンテーブル回転バルブをOFFする時間	0.0～9.9秒
16	巻付け終了時、テーブル固定動作に移るまでの時間	
17	荷降ろし時、テーブルを上げている時間	
18	荷降ろし時、フィルムアームを繰り返し上げる時間(2回目以降)	
19	荷降ろし時、フィルムアームを下げた後、放出動作に移るまでの時間	
20	初期値スイッチを押したときに戻る値	0～99回
21	荷降ろし時、フィルムアームを繰り返し下げる回数	ON/OFF
22	巻付け時、回転カウントセンサエラー機能の有・無	
23	ダンブセンサを確認する時間	
24	ターンテーブル固定時、ロックピンセンサを確認する時間	
25	荷降ろし後、ターンテーブルが回転する時間	
26	荷降ろし時、フィルムアームを上げるまでの時間	0.0～9.9秒

・センサチェック

+スイッチを長押し(2秒)すると次のセンサ状態を表示します。

-スイッチを長押し(2秒)すると前のセンサ状態を表示します。

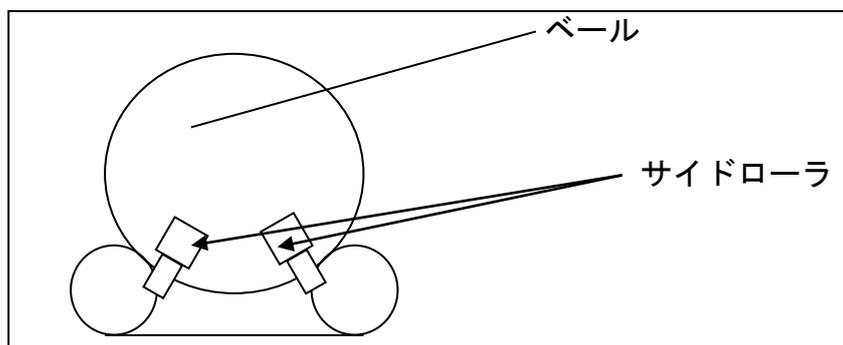
設定ボタンの表示	名称	センサ	パトライト	表示
51	ロックピンセンサ	ON	点灯	点灯
		OFF	消灯	点滅
52	回転カウントセンサ	ON	点灯	点灯
		OFF	消灯	点滅
53	ダンブセンサ	ON	点灯	点灯
		OFF	消灯	点滅
54	フィルムセンサ	ON	点灯	点灯
		OFF	消灯	点滅
55	ロックピンモータセンサ	ON	点灯	点灯
		OFF	消灯	点滅
56	フィルム切れ1センサ	ON	点灯	点灯
		OFF	消灯	点滅
57	フィルム切れ2センサ	ON	点灯	点灯
		OFF	消灯	点滅

注) 動作エラーはLED表示にE 1～E 7で表示されますので、その項目はP.47の「不調診断」を参照してください。

運転に必要な装置の取扱い

●自動運転を行う

1. グリッパー等でベールをテーブルに載せます。
(ベールがサイドローラに乗らないように注意してください。)



※サイドローラとベール端面をあわせてください。

2. フィルムを巻き付けし、テーブルを固定します。(⑨を押す)
3. フィルムを束ね、ベールを放出しスタンバイ状態に戻ります。(⑩を押す)
※全自動LEDが点灯している場合は操作不要
4. 放出されたベールを運びます。

●手動運転を行う

1. グリッパー等でベールをテーブルに載せます。
2. フィルムアームを上げます。(⑥を押す)
3. フィルムを巻き付けます。(⑦を押している間回転)
4. テーブルを固定します。(④を押す)
5. フィルムを束ねます。(⑥を押す)
6. ベールを放出します。(⑧を押す)
7. テーブルを戻します。(⑧を押す)
8. 放出されたベールを運びます。

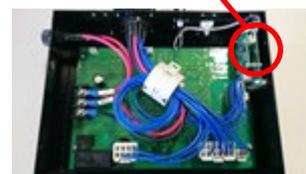
●新しくリモコンを購入した時の設定方法

以前使用していたリモコンから新しいリモコンへ買い換える際には、コントロールボックスのID登録が必要です。

・ID登録の手順

- ①コントロールボックスの裏カバーを取り外します。
- ②右図の丸で囲った部分に赤いスイッチがありますので、スイッチを押したまま電源をONします。LEDが2回光った後に、赤いスイッチを離すとID登録モードになります。
- ③リモコンの「巻く」ボタンを押すとLEDが2回光りIDが登録されます。
- ④IDの登録が完了したら、電源を一旦切り、再度電源をONすると通常どおり使用することができます。

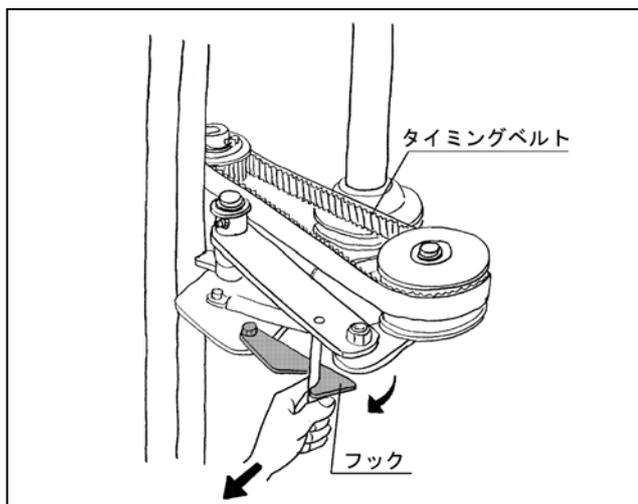
赤いスイッチ



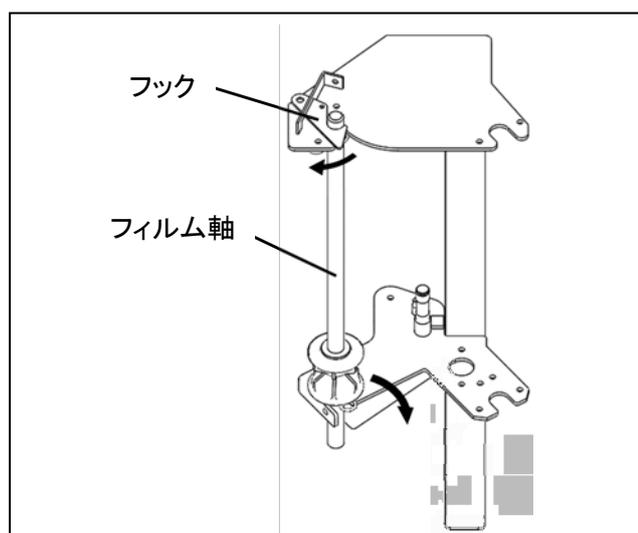
運転に必要な装置の取扱い

2. フィルム装着

①テンションアームを引き、フックで固定してください。



②フックを外してフィルム軸を倒します。

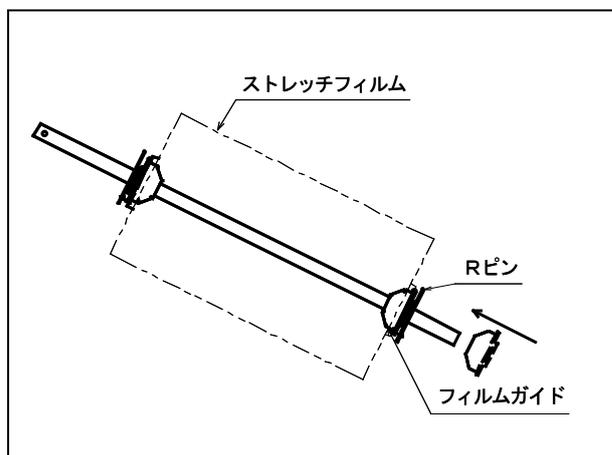
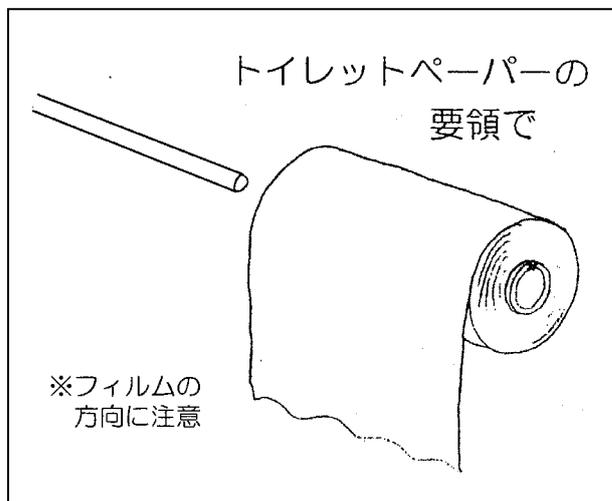


⚠ 注意

フックを外す時は、必ずフィルム軸が倒れないように手で押さえてください。これを怠ると傷害事故につながるおそれがあります。

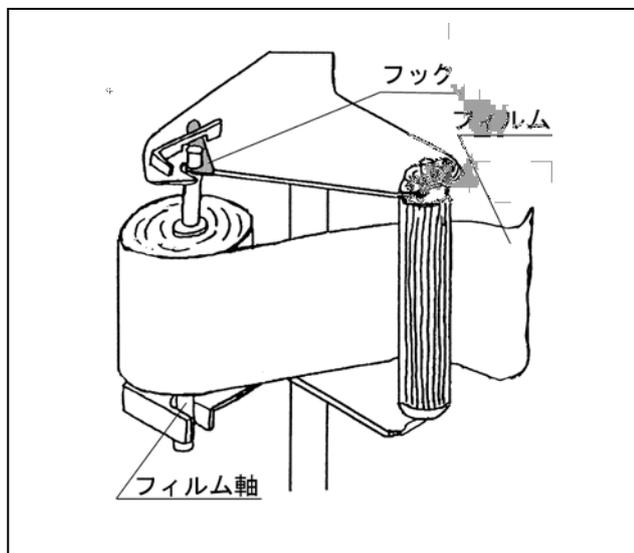
③フィルムガイドを外し、フィルムをフィルム軸に挿入します。

再度、フィルムガイドを挿入します。傷が付かないように、フィルムの取り扱いには充分注意してください。

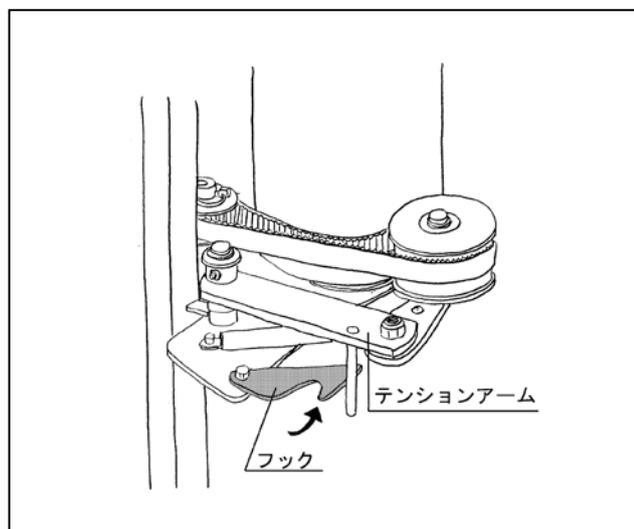


運転に必要な装置の取扱い

- ④フィルム軸を起こしてフックをかけます。
タイミングベルトがフィルムの円筒面にかかっていることを確認してください。
外れている場合は、かけ直してください。
フィルムは次図のように通します。



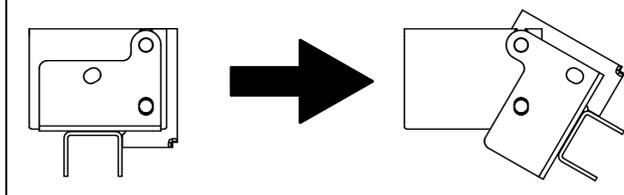
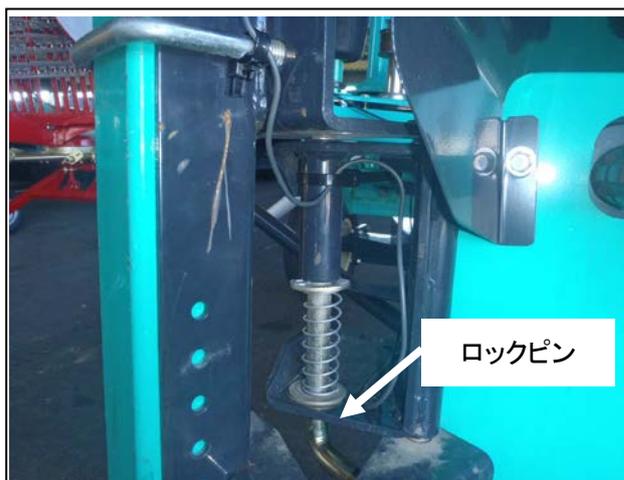
- ⑤テンションアームを引き、フックを必ず外してください。



3. ダブルストレッチのフィルム装着 (WM1001R(W))

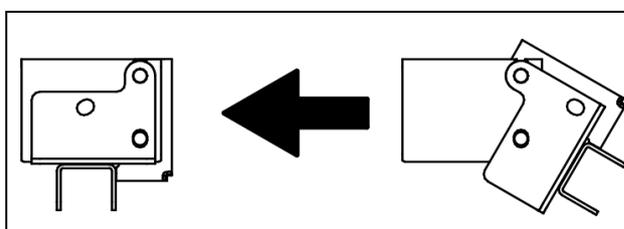
オプションのダブルストレッチのフィルムを装着するときは、フィルム装置を引き出してから行ってください。

- ①ロックピンを下げ、ストレッチ装置を引き出してください



- ②「2. フィルム装着(P.32)」にしたがってフィルムを装着してください

- ③ロックピンを下げ、ストレッチ装置を元の位置に戻してください。



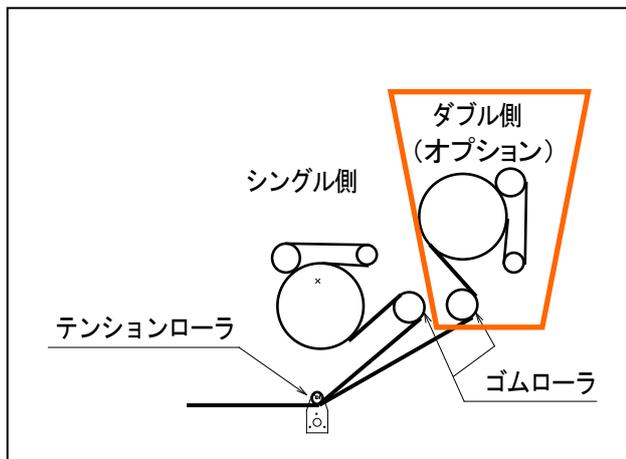
注意

故障の原因となりますので、フィルム装着後は必ずストレッチ装置を元の位置に戻してください。

運転に必要な装置の取扱い

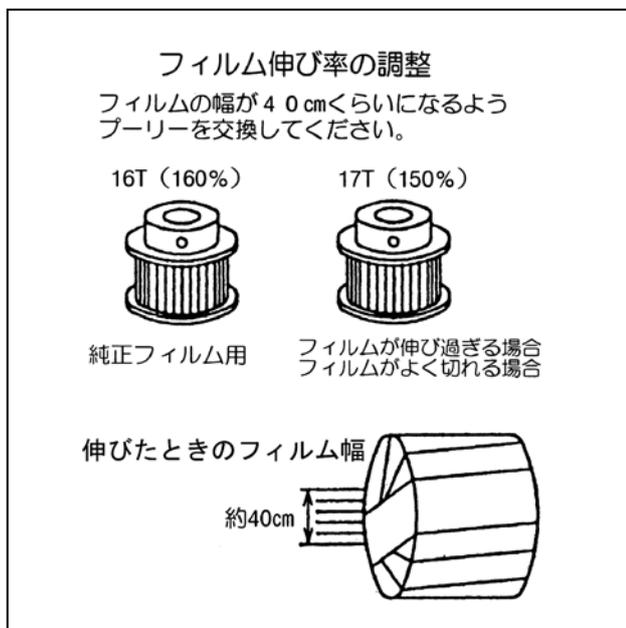
4. フィルムの通し方

次図の通りにフィルムを通してください。



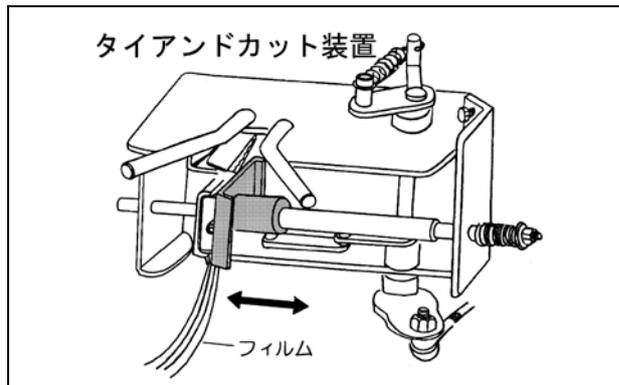
5. フィルム伸び率の調整

純正フィルムに合わせて、フィルムの伸び率は160%に設定していますが、気温やフィルム特性の違いにより伸び過ぎたり切れ易かったりすることがあります。その場合には、テンションアーム下に伸び率変更用のプーリーを装備しておりますので交換してください。



6. タイアードカットにフィルムをはさむ

装置を開きます。フィルムを引き出し、装置の根元に下からはさみます。



⚠ 注意

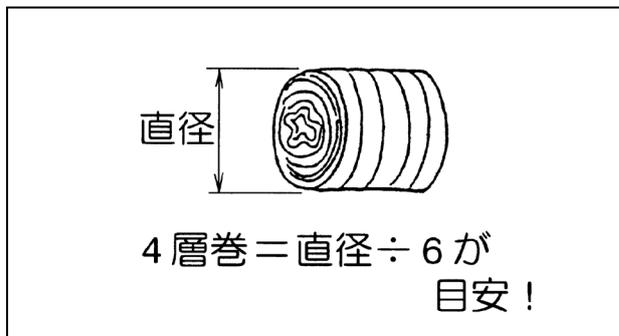
鋭利な刃物がありますので取り扱いには十分注意してください。注意をおこたると傷害事故につながるおそれがあります。

7. カウンタの設定方法

◆ 4層巻の場合

通常保存の場合、フィルムは4層巻きで十分です。

- ①ベールの直径(cm)を測ります。
- ②それを6で割り、余りは切り上げます。
例えば、直径100cmの場合、
 $100 \div 6 = 16.7 \Rightarrow 17$ 回転が、目安となりますが実際にラップしてから巻き数を調整してください。



- ③コントロールボックスの巻き数設定に入力してください。

運転に必要な装置の取扱い

◆ 6層巻の場合

長期の保存などの場合、フィルムを6層巻きにしたほうが良い場合があります。

- ①ベールの直径(cm)を測ります。
- ②それを4で割り、余りは切り上げます。
例えば、直径100cmの場合、
 $100 \div 4 = 25 \Rightarrow 25$ 回転
が目安となります。

巻き数設定の目安 (シングル)

	φ85~90	φ100	φ120
4層	15	17	20
6層	22~23	25	30

◆ フィルム1本で巻ける目安

4層巻き、6層巻きの場合にフィルム1本で巻けるベールの個数の目安は以下のとおりです。

4層巻きの場合

- ・直径90cm × 幅85cmのベール
⇒約45個
- ・直径100cm × 幅100cmのベール
⇒約35個
- ・直径120cm × 幅120cmのベール
⇒約23個

6層巻きの場合

- ・直径90cm × 幅85cmのベール
⇒約32個
- ・直径100cm × 幅100cmのベール
⇒約25個
- ・直径120cm × 幅120cmのベール
⇒約15個

8. ダブルストレッチのカウンタ設定方法

(WM1001R(W))

4層巻き、6層巻きともシングル時の半分にしてください。

余りは切り上げます。

例えば、直径100cmの4層巻きでは

$$17 \div 2 = 8.5 \Rightarrow 9$$

回転が目安となりますが、実際にラップしてから巻き数を調整してください。

巻き数設定の目安 (ダブル)

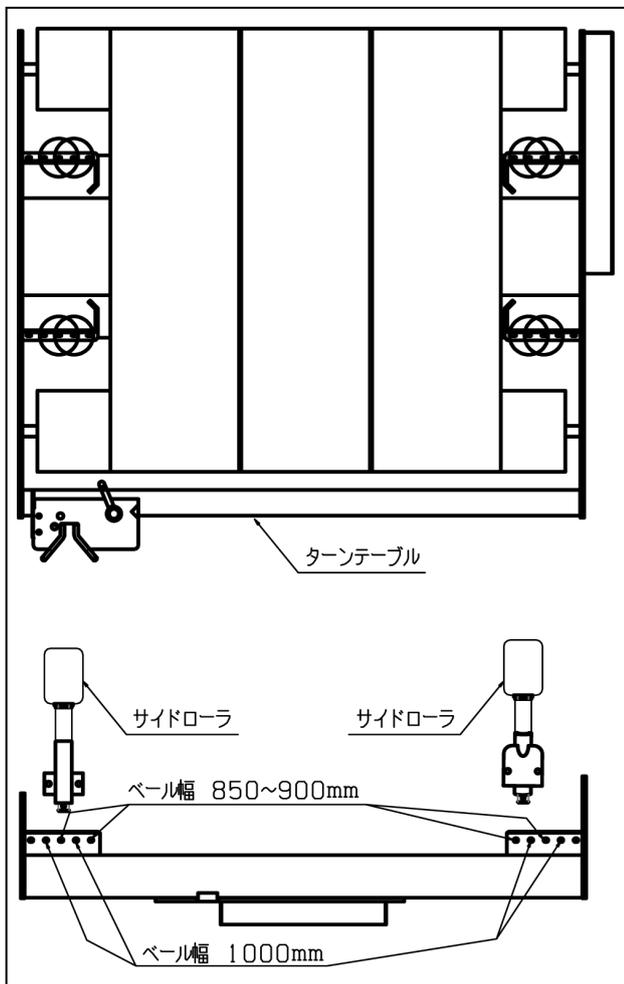
	φ85~90	φ100	φ120
4層	8	9	10
6層	11~12	13	15

運転に必要な装置の取扱い

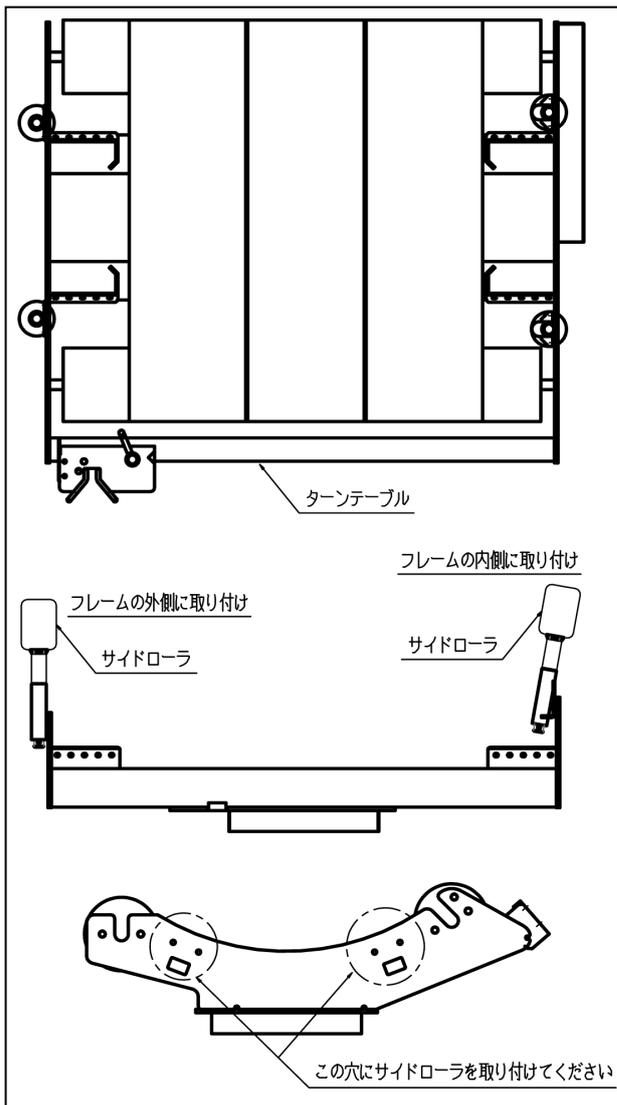
9. サイドローラの位置

ベール幅によって位置を移動させてください。

◆ベール幅85~100cmの場合



◆ベール幅120cmの場合



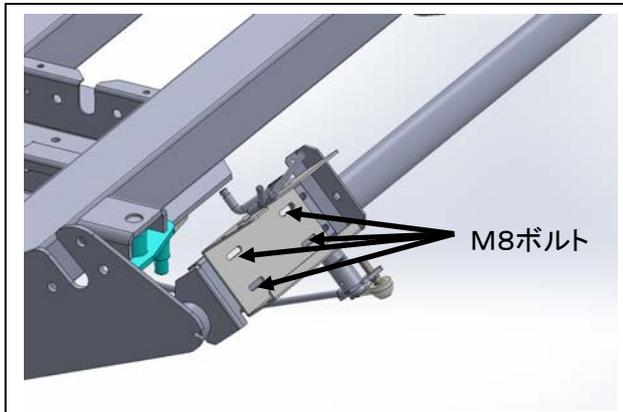
ベール幅120cmの場合、サイドローラをターンテーブルに取り付けるときに、左右で取付位置が内外異なるので注意してください。

運転に必要な装置の取扱い

10. タイアンドカットの位置

ベールの寸法によってはタイアンドカットの位置を変える必要があります。

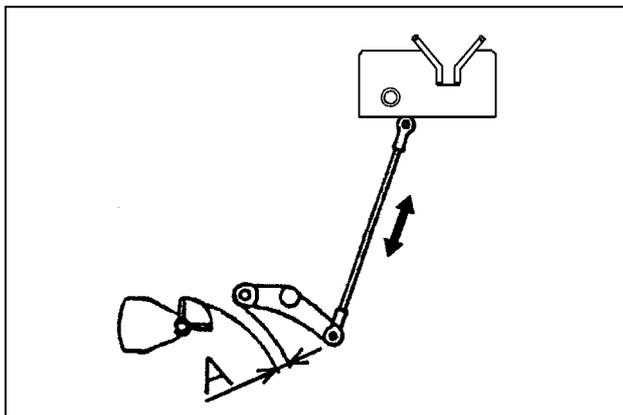
- ①タイアンドカット装置を固定しているM8ボルト4本を緩めます。



- ②設定位置の目安ステッカーに合わせて、タイアンドカット装置を固定します。

設定位置 (目安)	△	△	△	△
(ベール幅)	85cm	100cm	120cm	

- ③装置を移動した後、A寸法が1~2mmになるよう、ターンバックルを調整します。



11. シングル/ダブルストレッチの組替え

(WM1001R(W))

つぎのような条件ではダブルストレッチが使用できないことがあります。

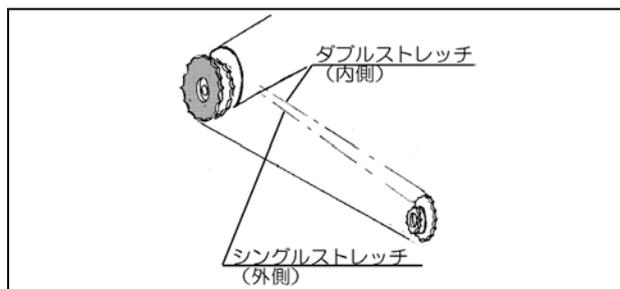
- ・ベール直径が100cmに満たない場合
⇒フィルムとベールの位置が合わないため、巻きむらが生じるおそれがあります。
- ・ベール重量が150kgに満たない場合
⇒ベールがターンテーブルから脱落して作業できない場合があります。

このような場合、シングルストレッチに組み替える必要があります。

つぎの要領に従い、組み替えてください。

◆ターンテーブルのスピード変更

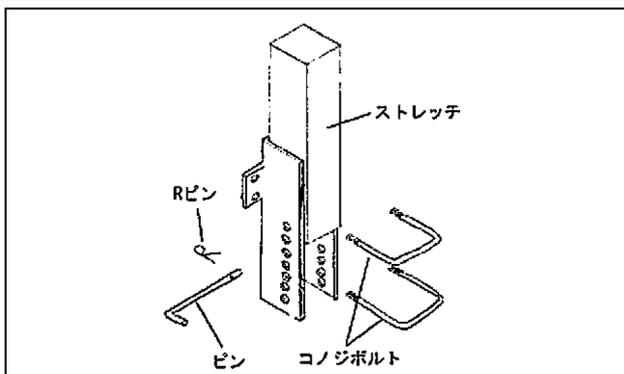
- ①ターンテーブルローラを固定しているベアリングのボルトを緩めます。
- ②チェーンを掛け替えます。シングルストレッチは外側(ダブルストレッチは内側)です。
- ③ベアリングによりチェーンを張り、固定してください。
- ④カバーを取り付けます。



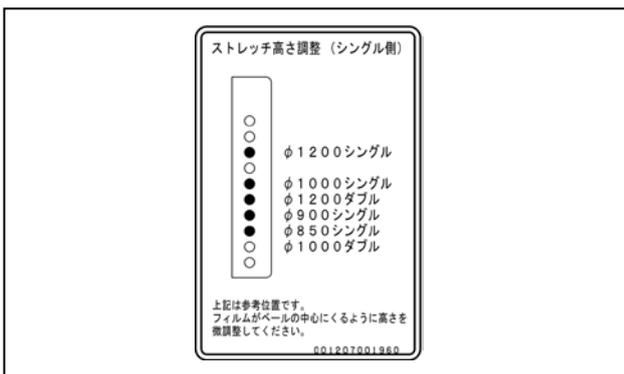
◆ストレッチ台の高さ変更

- ①コノジボルトを緩めます。
- ②ストレッチ台は図の位置を目安にして、適切な穴にL型ピンを挿してください。フィルムの中央とベールの中央が同じになるように微調整してください。
- ③高さが決まったらコノジボルトを締めます。
- ④ピンには必ずRピンを挿してください。

運転に必要な装置の取扱い



- ・ シングルストレッチ側（標準装備）
ストレッチ高さ調整の目安位置



- ・ ダブルストレッチ側（オプション）
ストレッチ高さ調整の目安位置



◆カウンタの変更

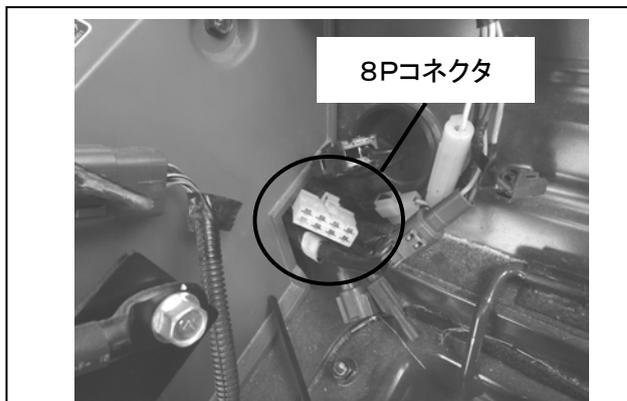
「カウンタの設定方法(P.34)」を参考に設定を変更してください。

⚠ 警告

この作業を行う時は、ダンプフレームが完全に戻った状態にして、必ずエンジンを停止してから行ってください。
これを怠ると、重大な傷害事故につながるおそれがあります。

12. テールランプの確認

ハーネスの8Pコネクタをトラクタの灯火装置用コネクタに接続し、ランプが正常に点灯することを確認してください。



注意

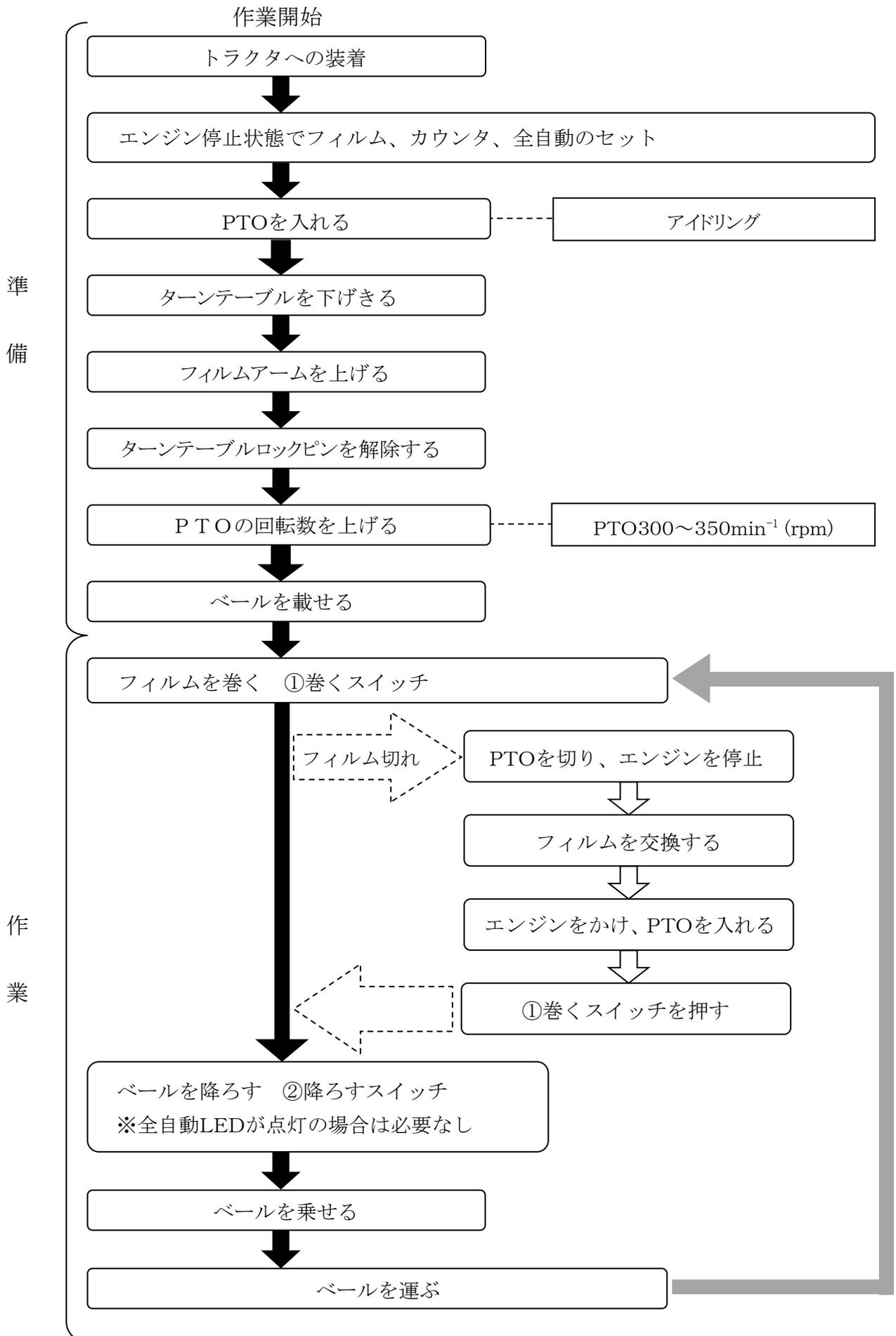
コネクタの形状が異なる場合は、付属の簡易変換ハーネスを使用してください。

⚠ 警告

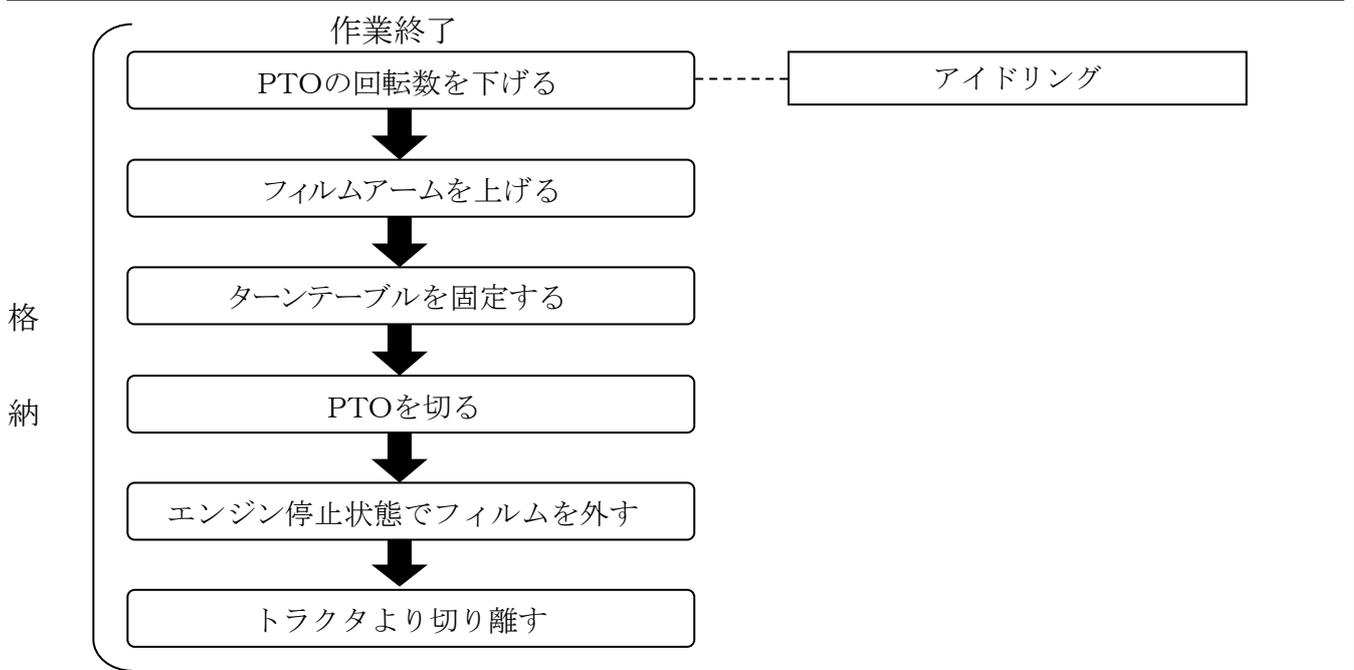
コードに傷がつくと、正常な点灯が行われず、思わぬ事故をおこすおそれがあります。

作業方法

1. 作業手順と要点



作業方法



⚠ 注意

パトライトが点灯している場合はコントロールボックスやリモコンスイッチを押すと動作します。機械に近づく際は必ずPTOを切り、エンジンを停止してください。

作業方法

2. フィルムを巻付ける

コントロールボックスの「①巻く」スイッチまたはリモコンの「巻く」スイッチを押してください。

設定数だけ巻き付け後、ターンテーブルを固定しベール放出可能状態になります。

PTO 300 ~ 350min⁻¹(rpm)

⚠ 危険

運転中は絶対に近寄らないでください。
重大な傷害事故につながるおそれがあります。

回転中にフィルムが切れたり無くなった場合に自動で停止します。(パトライト点滅、「①巻く」スイッチLEDが点滅、非常停止LED点灯)

もう一度コントロールボックスの「①巻く」スイッチを押すと途中から巻き付けが再スタートします。

※安全のためにフィルム交換を行う際はPTOを切り、エンジンを停止してください。

なお、自動で停止した状態で「非常停止」スイッチを押すとリセットされコントロールボックスの「①巻く」スイッチまたはリモコンの「巻く」スイッチを押すとはじめからスタートします。
カウントが終わると、自動的にターンテーブルがロックされ停止します。

⚠ 注意

二人以上の共同作業では、お互いに声をかけ合うなどして安全を確かめ合いながら作業してください。
これを怠ると、傷害事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

自動運転を行う前に、周囲に人、物がないか安全を確認してください。
これを怠ると、重大な傷害事故につながるおそれがあります。

3. ベールを放出する

コントロールボックスの「②降ろす」スイッチを押してください。

フィルムを束ねた後、ベールを放出して巻き付け可能状態に戻ります。

なお、ターンテーブルを固定した状態ではないと動作しません。

PTO 300 ~ 350min⁻¹(rpm)

⚠ 警告

谷側への荷降ろしはベールが転がる危険がありますので絶対にしないでください。

4. 移動時の注意

移動時は、次のことを守ってください。

- ①ターンテーブルをロックする
- ②PTOを切る
- ③スタンドを格納する

⚠ 注意

作業機に近づく場合は、必ずトラクタのエンジンを停止してください。
これを怠ると、重大な傷害事故につながるおそれがあります。

5. 格納時の注意

各部に巻き付いた草などを取り除いて、車輪止めをしてください。
屋外に放置する場合は、本機からフィルム、コントロールボックス、リモコンを取り外して別途屋内に保管してください。

作業前の点検について

作業の安全確保と故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。作業前の点検は、欠かさず行ってください。

警告

- 取り外したカバー類は必ず取り付けてください。衣服が巻き込まれて危険です。
- 点検・整備をするときはPTOを切り、トラクタのエンジンを停止し、回転部が完全に止まってから行ってください。

点 検 整 備 基 準

○点 検 ●交 換 △補 給 □清 掃

作業内容	時 間						備 考
	作業前毎	作業後毎	20時間毎	50時間毎	100時間毎	200時間毎	
機 体 部	ボルト、ナットの緩み					○	
	チェンのたるみ			○			初期2時間
	タイヤ空気圧			○			
	ターンテーブルまわり		□				
	機体の洗浄		□				
	ストレッチロールの掃除		□				
電 装	各部センサ		□				
	コントロールボックス	○					コネクタをしっかりと差し込む
給 油 部	各チェン			△			注油
	ユニバーサルジョイント					△	グリス
	油圧シリンダ支点					△	グリス
	ロックピン					△	グリス
	油圧オイル						● 不足の場合適宜補給
	サイドローラ				△		グリス

注 意

特に作業条件が悪い場合や、連続作業で稼働率が高いときは適宜規定の時間より早めに点検整備を行ってください。

簡単な手入れと処置

警告

点検・調整をするときは必ずPTOを切り、エンジンを停止してください。
これを怠ると重大な傷害事故を引き起こすおそれがあります。

1. 油圧作動油について

点検、補給はエンジン始動前に行ってください。

不足している場合は、適時補給してください。

油はJIS K 2213 添加タービン1号または2号相当品またはISO VG68をご使用ください。

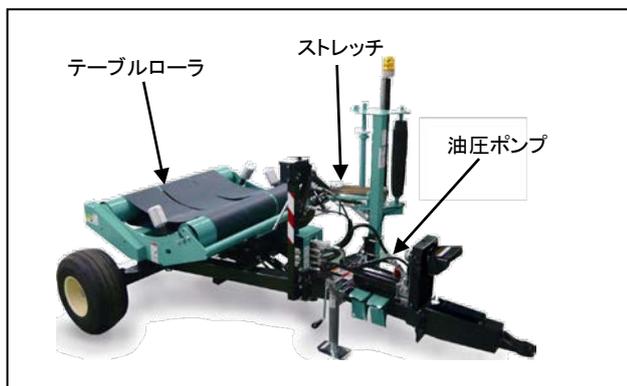
注意

- 不燃性作動油は使用できません。
- 寒冷地では耐寒性作動油をご使用ください。
- 工場出荷時はシェルテラスオイル68を使用しています。
- 長時間、連続作業を行った場合、油温上昇のため油圧効率が悪くなり、動作が遅くなる場合があります。その場合、作業を止めて油温を下げると元に戻ります。

2. チェンの調整

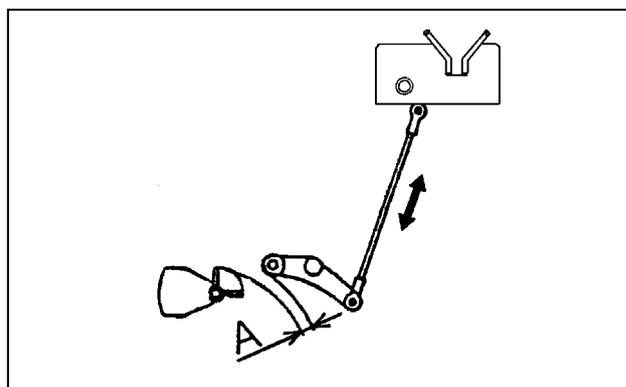
ストレッチ部、テーブルローラ駆動、油圧ポンプ駆動の3箇所にてチェーンが使用されています。

チェーンは特に初期に伸びやすいため、テーブルローラ駆動、油圧ポンプ駆動の2ヶ所は最初の2時間使用後に張り調整を行ってください。



3. タイアンドカットの調整

- ベールの荷降ろし時、同装置が働いてフィルムを切断・保持しますが、位置が合っていないとうまく機能しません。
- ベールの寸法によっては装置の位置を変える必要があります。
 - ① フィルムが前方にずれる場合、装置を前に移動させます。
 - ② フィルムが後方にずれる場合、装置を後ろに移動させます。
 - ③ 装置を移動した後、A寸法が1～2mmになるよう、ターンバックルを調整します。



簡単な手入れと処置

4. センサ類の調整

警告

トラクタのエンジンをかけたまま調整すると重大な事故が起こる可能性があります。必ずPTOを切り、エンジンを停止した状態で行ってください。

※各センサの位置は「各部の名称とはたらき(P.19)」を参照してください。

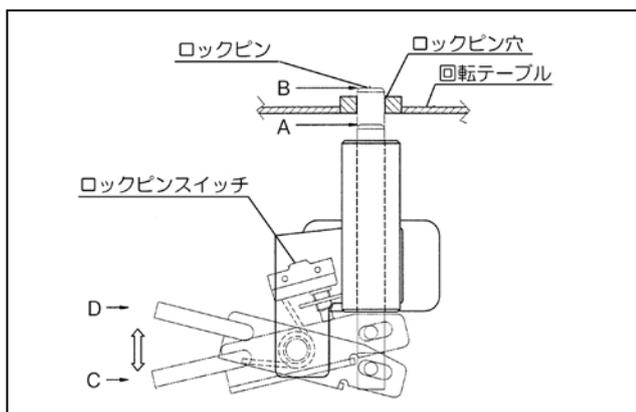
◆ロックピンセンサの調整

ロックピンセンサ調整不良時、次の誤動作が起こる可能性があるため、調整を行う必要があります。

- ・ターンテーブルがロックされているときに、ダンプできない。
- ・ターンテーブルがロックされても、油圧ポンプのリリーフが効き続ける。
- ・ターンテーブルの回転が保持されない。

(調整方法)

- ①図に示すように、ターンテーブルがロック状態(Bの位置)にあるとき、ロックピンセンサが押し上げ金具(Cの状態)により、押されるよう(センサON)に仮止めしてください。
- ②次に、ターンテーブルのロックを解除した時(Aの位置)ロックピンセンサが押し上げ金具(Dの状態)より離れた状態(センサOFF)にセットしてください。



◆フィルム切れ1センサ、フィルム切れ2センサ、フィルムアームセンサの調整

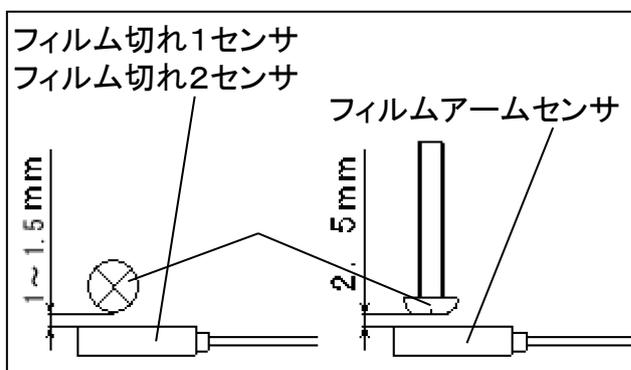
センサが反応しているときはセンサに付いているLEDが点灯します。

センサ上面にボルトが来てもLEDが点灯しない場合はボルトを調整してください。

なお、LEDは明るい場所では見えにくいので、コントロールボックスのセンサチェックをご利用ください。詳しくは運転に必要な装置の取り扱い項目(P.30～)を確認してください。

(調整方法)

- ①ボルトに付いているナットを緩めてください。
- ②図に示すように、フィルム切れセンサ(1および2)との距離が1~1.5mmになる位置、フィルムアームセンサとの距離が2.5mmになる位置で固定してください。



◆回転カウントセンサの調整方法

センサが反応しているときはセンサに付いているLEDが点灯します。

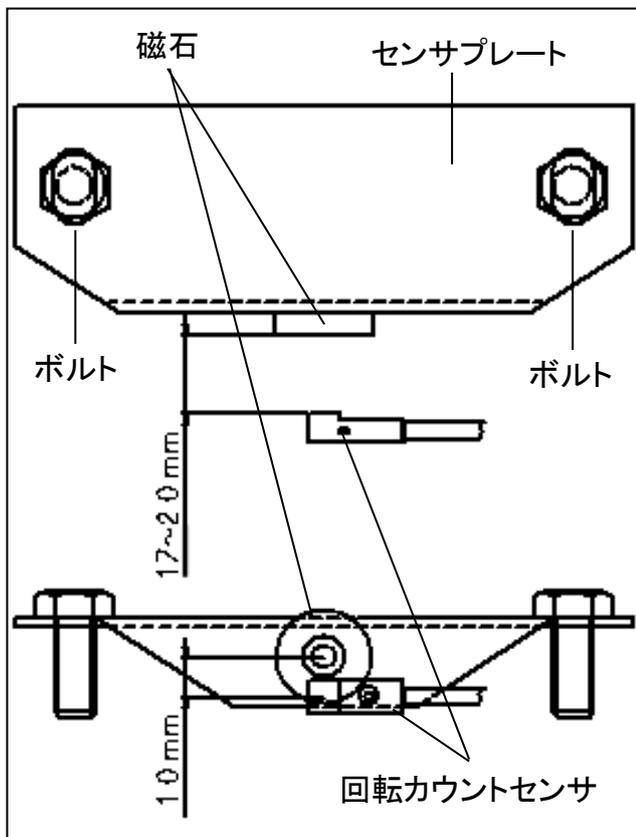
センサ上面に磁石が来てもLEDが点灯しない場合は磁石を図のように調整してください。

なお、LEDは明るい場所では見えにくいので、コントロールボックスのセンサチェックをご利用ください。詳しくは運転に必要な装置の取り扱い項目(P.27～)を確認してください。

簡単な手入れと処置

(調整方法)

- ① センサを取り付けている金具のボルトを緩めてください。
- ② 図に示すように、センサとの距離が20mmになる位置で固定してください。

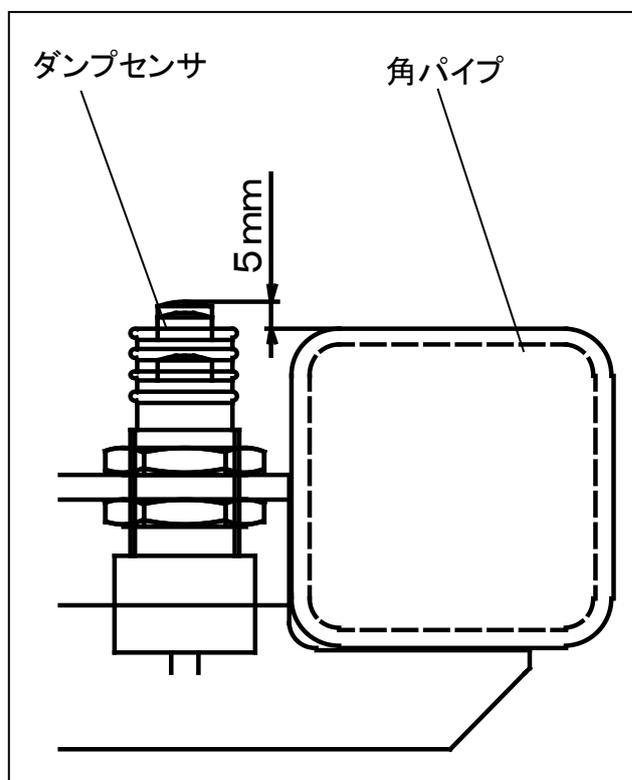


◆ ダンプセンサの調整方法

センサの反応を確認するにはコントロールボックスのセンサチェックをご利用ください。詳しくは運転に必要な装置の取り扱い項目をお読みください。

(調整方法)

- ① 角パイプの上を掃除してください。
- ② センサに付いているナットを緩めてください。
- ③ 図に示すように、角パイプとセンサとの高さが5mmになる位置で固定してください。



簡単な手入れと処置

◆ロックピンモータセンサの調整方法

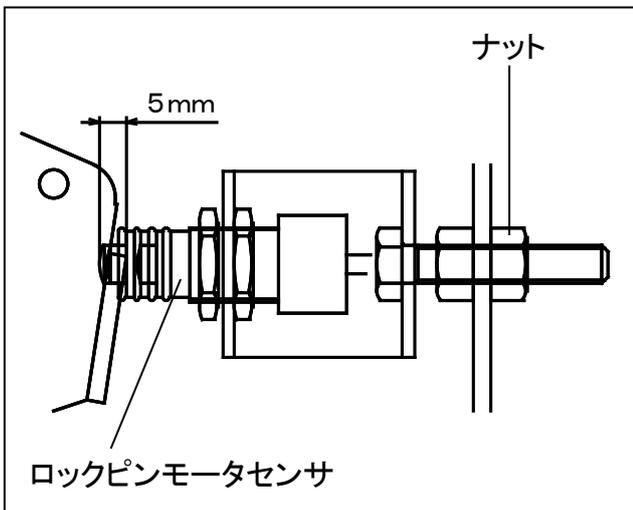
必ずエンジンを停止して、コントロールボックスのテーブル固定スイッチを押してください。

センサが押されると0.2秒後にロックピンモータが停止します。

センサが押されていないと2秒後にロックピンモータが停止します。

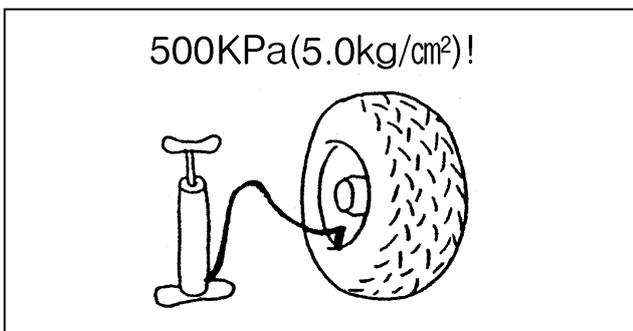
(調整方法)

- ①図に示すナットを緩めてください。
- ②センサの先端が5mm押される位置で固定してください。



5. タイヤの空気圧

タイヤサイズは、22×10.00—10PRです。シーズン始めにタイヤ空気圧を測り、足りない場合は空気を入れてください。空気圧は500kPa(5.0kg/cm²)です。



6. ゴムロール

作業後、ゴムロールに付着した糊を軽油等で拭き取ってください。

糊が付着したまま作業を続けると、フィルムの張力が安定せず、巻きむらが起こることがあります。

また、フィルムを束ねる際、糊が抵抗となりフィルムが切れる、またはタイアンドカット装置で保持できなくなるおそれがあります。

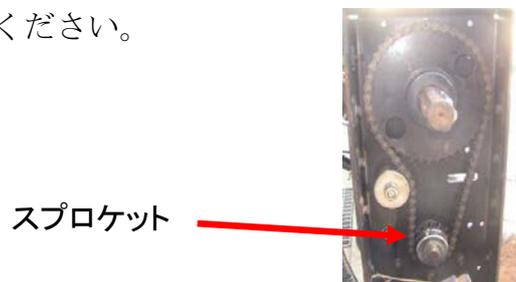


7. トラクタの発電量

リモコンラップマシンの最大消費電流は7Aです。トラクタの発電量が7A以下の場合、バッテリーの容量が無くなるとコントロールボックスがリセットします。

トラクタの発電量を上げるためにはトラクタのエンジン回転速度を上げる必要があります。

この場合、スプロケットを11→17Tに変更してください。



キットコード*	40103-6800-000
---------	----------------

部品コード*	部品名称	員数
40103-6811-000	スプロケット#40×17T	1
03621-0400-020	チェーン#40×2リンク(JL付)	1
03621-3400-000	オフセット#40	1

不 調 診 断

不 調 内 容	診 断	処 置	参 照 ペ ー ジ
●ベールが持ち上がらない	●オイルが減っている ●ベール重量が800kgを越えている	●オイルを補給してください ●梱包圧を下げるなど、重量を下げてください	43 —
●動作速度が遅い	●オイルが減っている ●エンジンの回転速度が遅い	●オイルを補給してください ●フットアクセルでエンジンの回転速度を上げてください	43 —
●フィルムがよく切れる	●ゴムロールが汚れている ●チェンの油切れ ●フィルムの性質 ●テーブル回転が速い	●ゴムロールをきれいにしてください ●チェンに注油してください ●ストレッチプーリを交換してください ●エンジン回転数を下げてください	46 — 34 —
●いつまでたってもターンテーブルが停止しない	●ロックピンセンサの調整不良	●ロックピンセンサを調整してください	44
●ターンテーブルがロックしない	●ロックピンが出てこない ●回転が速すぎる	●バッテリーの電圧をチェックしてください ●回転数を下げてください	23 27
●タイアンドカット装置がうまく動作しない	●装置の位置不良 ●タイアンドカットの調整不良	●前後に移動してください ●タイアンドカットを調整してください	37 43
●ターンテーブルからベールが落ちる	●ターンテーブルの回転が速い	●エンジンの回転数を下げてください	—
●ダンプしない	●ターンテーブルがロックされていない ●ロックピンセンサ調整不良	●ターンテーブルをロックしてください ●ロックピンセンサを調整してください	28 44
●リリーフが効き続ける	●ロックピンセンサ調整不良	●ロックピンセンサを調整してください	44
●ターンテーブルの回転の保持が効かない	●ロックピンセンサ調整不良	●ロックピンセンサを調整してください	44
●油圧が動作しない	●バルブのゴミつまり	●販売店へお問い合わせください	—

不調診断

不調内容	パトライト表示	診断	処置	参照ページ
●コントロールボックスの電源が入らない	パトライト:消灯 表示:なし	●電源が入っていません	●電源コードおよびヒューズを確認してください	23
●巻くスイッチ、降ろすスイッチが効かない	設定モード/センサチェックランプ:点灯	●設定モード/センサチェックに入っていない	●モード切替スイッチを押して、設定モード/センサチェックランプを消灯させてください	29
●テーブルを解除できない ●テーブルを固定できない	パトライト:点滅 表示:E1	●ロックピンセンサが反応していません	●ロックピンセンサを調整してください	44
●フィルムアームが上がったまま、非常停止となる	パトライト:点滅 表示:E2	●フィルムアームセンサが反応していません	●フィルムアームセンサを調整してください	44
●ペールを放出した後、テーブルが戻ると非常停止となる	パトライト:点滅 表示:E3	●ダンプセンサが反応していません	●ダンプセンサ付近にゴミが詰まっているか確認してください	45
●巻付け中にカウントせず非常停止となる	パトライト:点滅 表示:E4	●回転カウントセンサが反応していません	●回転カウントセンサを調整してください	44
●巻付け中に非常停止となる	パトライト:点滅 表示:E6、E7	●フィルムが無くなりました ●フィルム切れ1, 2センサが反応していません	●フィルムを交換し ①巻くスイッチを押してください ●フィルム切れ1, 2センサを調整してください	32 28 44
●ダブルストレッチではないのに、巻付け中に非常停止となる	パトライト:点滅 表示:E7	●コントロールボックスのフィルム切れ2センサの設定がONになっている	●設定をOFFにしてください	29
●巻付け最中に突然停止する	パトライト:点滅 表示:E8(点滅)	●コントロールボックスがリセットしています	●バッテリー電圧を確認してください	23

この項にしたがって再度点検を行っても、不調が改善しないときは販売店にお問い合わせください。

付 表

1. 主要諸元

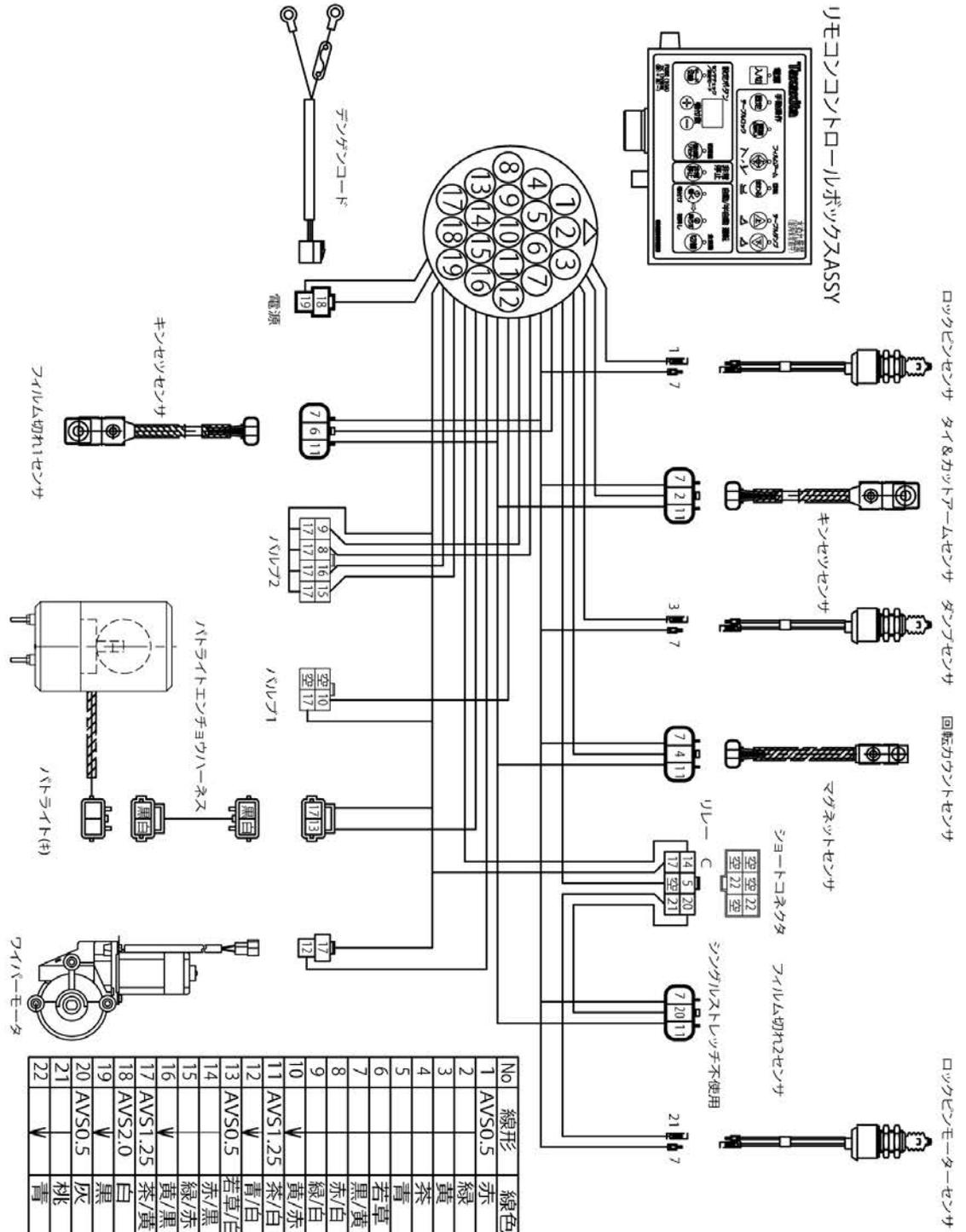
品 名	リモコンラップマシーン	
型 式	WM1001R	WM1001RW
機 体 寸 法	全 長 (m m)	3000
	全 幅 (m m)	2050
	全 高 (m m)	1800
質 量 (k g)	530	560
装 着 方 法	スイングドロバ	
駆 動 方 法	PTO駆動(回転速度 300~350min ⁻¹ {rpm})	
適 応 ト ラ ク タ (kW{PS})	14.7~51.5 {20~70}	
適 応 ベ ー ル 質 量 (kg)	800	
適 応 ベ ー ル サ イ ズ	直径 85~120cm 幅 85~120cm	直径 100~120cm 幅 85~120cm
適 応 フ ィ ル ム 幅 (mm)	500	
タ イ ヤ サ イ ズ	22×10.00-10PR	

※この主要諸元は改良などにより、予告なく変更することがあります。

※質量はユニバーサルジョイント装着時の重量です。

付 表

2. 電装回路図

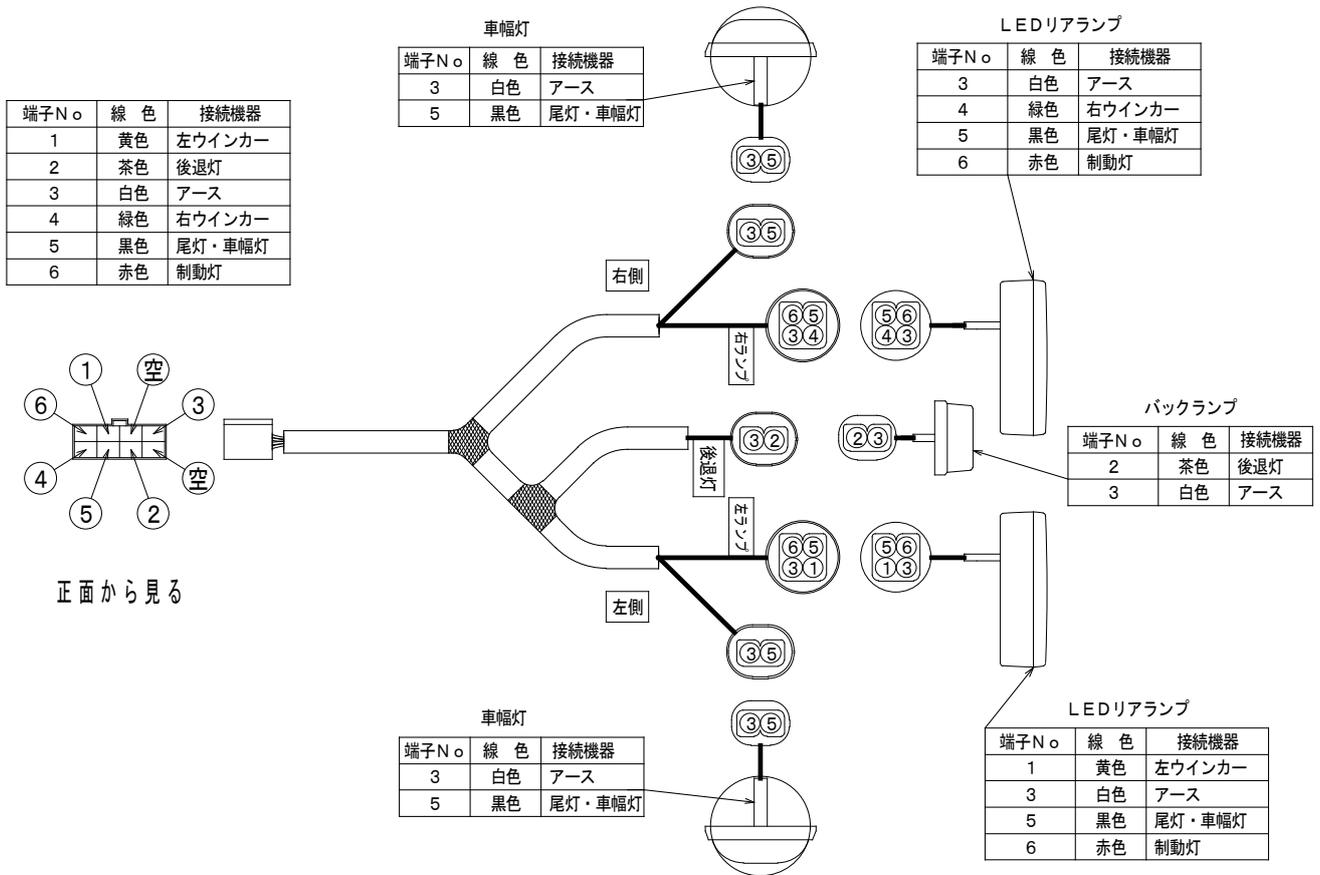


No	線形	緑色	名称
1	AVS0.5	赤	ロックピンセンサ
2		緑	タイヤ&カットアームセンサ
3		黄	タンクセンサ
4		青	回転カウンタセンサ
5		黒	ロックピンモーター・ロールオーバー切れ1センサ
6		黒/黄	ロールオーバー切れ1センサ
7		赤/白	タンク上げバルブ A2
8		緑/白	タンク下げバルブ B2
9		黄/赤	タンクバルブ A3
10		茶/白	+12V 入力用
11	AVS1.25	青/白	ロックピンモーター
12		青/白	ホーンリレー
13	AVS0.5	黒/白	ホーンリレー
14		黒/黒	入力切替用リレー C
15		緑/赤	ホーンリレー A1
16		黄/黒	ホーンリレー B1
17	AVS1.25	茶/黄	ホーンリレー
18	AVS2.0	白	+12V
19		黒	ホーン
20	AVS0.5	灰	ロールオーバー切れ2センサリレー入力
21		桃	ロックピンセンサリレー入力
22		青	ショートシグナル

付 表

3. 保安部品電装回路図

◆テールランプ



◆変換ハーネス

トラクタ側の燈火装置用ソケットが日農工規格で定めるトレーラ用接続コネクタ(CN8極コネクタ)ではなく、DIN規格品(7PDINソケット)の場合変換ハーネスを取り付けてください。
以下の図のように変換ハーネスを取り付けてください。
ハーネスは必要に応じてリピータイで固定してください。

端子No.	線色	接続機器
1	黄色	左ウインカー
2	茶色	後退灯
3	白色	アース
4	緑色	右ウインカー
5	黒色	尾灯・車幅灯
6	赤色	制動灯

端子No.	線色	接続機器
1	黄色	左ウインカー
2	茶色	後退灯
3	白色	アース
4	緑色	右ウインカー
5	黒色	尾灯・車幅灯
6	赤色	制動灯

